

まちが好き 共に生きて 笑顔あふれる やまつりまち

2 February
2026

令和8年2月6日発行
(毎月第1金曜日発行)
No.779

広報

やまつり

Public
Relations
Yamatsuri

【成人式特集】(p2-5)

二十歳の誓い

【Health information (健康情報)】(p6-7)

野菜一皿プラスしてみっぺ！
体も心も喜ぶべ！

【青少年の主張矢祭町大会 (高校生の部最優秀賞)】(p8-9)

白河高等学校1年 深谷凜さん

【行政 NAVI】(p10)

矢祭町生活者支援商品券を配布します

【地域おこし協力隊活動ダイアリー VOL99】(p12-13)

Main presenter

眞野隊員・畠山隊員・若林隊員





Interview

多くの方に参加してもらえてよかった

まず、二十歳の成人式を迎えることができ、とても嬉しく思っています。久しぶりに会う友人たちと連絡を取り合い、集まってもらったのは大変でしたが、多くの方々に参加してもらって本当に良かったです。

来年度から就職が決まっているので、社会人生活に向けて、これまで以上に努力を重ねていきたいと思っています。



令和8年二十歳の成人式
実行委員会委員
菊池 紗耶 さん

成人式を開催できたことに感謝

これまで実行委員長として準備を進めてきた二十歳の成人式を無事に開催できたことを嬉しく思います。多くの皆さんに参加してもらったことができ、開催に際し、ご協力してくださった方々には大変感謝しています。

久しぶりに友人たちと再会することができたので、この機会にお酒を楽しみながら、素晴らしい思い出を作りたいです。



令和8年二十歳の成人式
実行委員会委員長
佐川 徳寿 さん

令和8年矢祭町二十歳の成人式は、1月11日（日）午前10時よりユール矢祭2階多目的ホールで行われました。

今年の対象者は、町内在住または本町出身で、平成17年4月2日から平成18年4月1日までに生まれた51人（男性29人、女性22人）。そのうち47人が式典に出席し、晴れの日に迎えました。

彼らが生まれた20年前には、日本代表が初代王者に輝いた第1回WBCの開催や神戸空港の開港、トリノオリンピックの開催。また、トリノオリ

ンピックで荒川静香選手が見せたフィギュアスケートの技イナバウアーやベストセラーの『国家の品格』に由来する『品格』が流行語大賞となるなど多くの出来事があった年となりました。

そんな年からこれまでの間に、家族や友人、地域の方など多くの人たちと出会い、さまざまな経験を通し成長してきた彼らは、これからの明るい時代を担い、本町をより一層輝かせてくれることでしょう。

『ご成人おめでとうございませう。』

二十歳の誓い

【成人式特集】

令和8年矢祭町成人の主張発表者
緑川 圭さん

本日は、二十歳を迎えた私たちのために、「成人の集い」を挙げていただき、心より御礼申し上げます。今日という節目を迎えられたのは、これまで慈しみ育ててくれた家族、そして温かく見守ってくださった地域の皆様のおかげです。新成人としての自覚を持ち、社会の一員として貢献していくことをここに誓います。

さて、実は今読み上げた冒頭の挨拶は、AIの力を借りて作成したものです。SNSが普及し、AIが進化し続ける現代において、私たちはいつでも「正解らしい言葉」を瞬時に手に入れることができます。この大役を任されたとき、私は自分の言葉で何から書き始めればいいのか戸惑い、つい便利な技術に頼ってしまいました。しかし、AIが作った文章には、私がこれまで感じてきた葛藤や、今抱えている本当の想いが抜けていました。ここからは、私自身の言葉で話をさせてください。

私たちが法的な成人である十八歳を迎えてから、早いもので二年が経過しました。当時は自由が増えることに期待を抱いていましたが、実際には大きな変化を感じることもなく、どこか拍子抜けしたような感覚だったことを覚えています。しかし、二十歳を迎えた今、当時よりも「大人」としての重みを感じています。そのきっかけは、地元を離れての一人暮らしでした。現在は、体調管理もスケジュールの管理もすべてが自己責任です。実際に生活してみて痛感したのは、自分自身の未熟さでした。親元を離れて生活する中で、金銭的な面を含め、いかに自分が多くの支えの中にいるかを自覚しました。

その恩恵に感謝し、周囲の心配を背負いながら、自分の選択に責任を持つことこそが、大人としての第一歩なのだと気づきました。

現在、私は大学で地域活性化や地方自治、そして教育について学んでいます。以前、ある授業で「内側にいると、地域の魅力も課題も、日常的すぎて見えなくなる」ということを教わりました。その通り、一歩外へ出て故郷を客観視することで、私は初めて、地元の「温かい人間関係」や「環境」が、かけがえのない価値であることを再認識できました。それと同時に、少子高齢化の加速や、消滅可能性都市とされる町の厳しい現状にも、真剣に目を向けるきっかけとなりました。また、教育について学ぶ中で、時代の変化も肌で感じています。便利な機能を使いこなす世代だからこそ、「あえて機械に頼らず、自分の力で考える時間」や、人と直接向き合う温かさを大切にしたい。便利な道具に振り回されない知恵を持つこと。それが、これからの私たちに求められる責任ではないでしょうか。

私は将来、この町に住み続けるという形だけでなく、「関係人口」として故郷に貢献する人々を増やしたいと考えています。大学で得た知識や視点を活かし、離れていても故郷を応援し、力になれる世代でありたい。大きなことはできなくても、自分なりの「恩返し」の形を模索し続けたいです。私たちはまだまだ未熟者ですが、家族や地域の皆様への感謝を忘れず、AIには出せない「自分の心」を持って歩んでいくことを誓い、挨拶とさせていただきます。

まず初めに、成人代表のご挨拶に先立ちまして、このような盛大な式典をご準備いただきました矢祭町、そして実行委員長をはじめ関係者の皆様に、心より感謝申し上げます。また、これまで20年間、常に身近で支えてくれた家族、そして温かい目で見守ってくださった地域の皆様にも合わせて深く御礼申し上げます。

そして皆さんお久しぶりでございます。人生の大きな節目である成人式において代表の挨拶という大任をお任せいただきましたこと、また中学校の卒業式以来およそ5年ぶりにみなさんの前で話させていただくことができること大変嬉しく思います。少しくさい話をしてしまうかもしれませんが、どうぞお許しください。

本日この場に集い、成人を迎えたことで、私たちは社会から「大人」と呼ばれ、相應の振る舞いが求められる立場になりました。しかし、私自身、これまで思い描いていた「大人」という姿に、今の自分がどれほど近づいているのか、時折考えることがあります。大人であるかどうか、それは親からの経済的な自立だけで測れるものではなく、これからの人生を自らの意思と責任で歩んでいけるのか、という精神的自立もまた問われているのではないのでしょうか。そう考えたとき、自信を持って「自分は大人である」と言える人が、果たしてどれほどいるでしょうか。人間は人と人との繋がりの中で生きていく極めて社会的な生き物であることを考えると、そもそも「大人になる」とって一体何なのだろうか。簡単に答えを見出せる問いではないかもしれませんが。

さて、私たち平成17,18年生まれは多くの困難を経験してきた世代であると言えます。6歳の時には東日本大震災を経験し、中学3年生の時には新型コロナウイルスの世界的流行により多くの自由が制限された時間を過ごしました。私たちに置き換えてみても、一斉休校やオーストラリアへの修学旅行や部活動の最後の大会であった中体連の中止など、多くの青春が犠牲になりました。そんな中でも、日常の小さなことに面白さを見出し、それにお腹を飽

るほど笑いあってくれた友達のおかげで、中学校の3年間という思い出が色褪せることはありませんでした。本当にありがとうございました。

私自身、現在大学2年生であり、一人暮らしをしています。すでに社会に出ている多くの同級生を見ると、将来についてまだまだ不鮮明である自分は大きな焦りを感じているというのが正直なところudur。本日このような大役をいただき、どんな話をしようかなと考えてみました。本来であれば、将来への決意や抱負を語るべき場なのかもしれませんが。

しかし、十分な社会経験がない私が、みなさんに助言をするなんてことは到底できるものではありません。ですから、ぜひ自分自身の言葉でお話をさせてください。私が小学生の頃から大事にしている「the show must go on」という言葉を最後にぜひこの場で紹介させていただきます。実はこの言葉は、私が小学4年生の頃に今日この場にいた旧東館小学校の頃の同級生とチームを組んでやまっふれあい駅伝に出場した時のチーム名でもありました。この言葉は元々、出演者の病氣や失敗があったとしてもステージは続行されるという、サーカスやショービジネスでのプロ意識を表す言葉です。そこから転じて、「一度始めれば困難やトラブルがあっても前に進む」という意味があります。しかしこれは無理に強がる言葉では決してなく、どんな時も前を向いて歩むという静かな覚悟であると解釈しています。それでも逆境の中で彷徨い、進むべき方向がわからなくなる時が必ず来ることでしょう。そんな時に、もう少し頑張るか背中を押してくれるのは、友の存在、そして思い出であると確信しています。

立派な大人になりますなんて宣言できる自信はありませんが、失敗しながら、迷いながら、それでも前に進める大人になりたいと思います。そして、今の私をつくり、育ててくれた家族と、大好きなこの町に感謝の気持ちを込めて代表の挨拶とさせていただきます。

令和8年矢祭町成人の主張発表者
宗田 大河さん



Interview

自分に自信を持って日々過ごしたい

将来についてはまだ決めてないですが、二十歳を迎えた自分に自信を持って日々を過ごしていきたいと考えています。

また、成人式の開催に際し、普段は忙しくてなかなか会うことができない人たちと再会できたことがとても嬉しかったです。これからは、時間を気にせず、お酒を楽しむ機会も増やしたいと思っています。



令和8年成人者
片野 亜紀さん

将来は、人を助ける仕事がしたい

将来、人を助ける仕事がしたいという想いから、医療系の職業を目指しています。その中で特に作業療法士になりたいと考えており、現在は大学で医療について学んでいます。今後は勉強を重ね、地元で就職できるように頑張りたいです。

また、二十歳を迎えたこともあり、友人たちと一緒にお酒を飲んで楽しい時間を過ごしたいです。



令和8年成人者
鈴木 佑河さん



1. スマホで自撮りを楽しむ成人者／2. 恩師と振袖姿で記念撮影／3. 久しぶりに再会した友人と記念撮影／4. 成人証書・記念品を受け取る成人者代表の石井統也さんと菊池紗耶さん／5. 晴れ姿を写真におさめる保護者／6. 同じ高校を卒業した成人者による記念撮影

介護予防教室『わんあっぷ』開催のお知らせ

睡眠と運動（朝動ける・夜眠れる身体作り）

【日程】
令和8年2月13日（金）
【講師】
武藤有貴氏
（株式会社はなひろ理学療法士）



- 【内容】
- ①睡眠と運動にはどんな関係がある？
 - ・睡眠の役割、重要性について知ろう
 - ・睡眠と運動の関係について理解を深めよう
 - ②睡眠の質を高める運動を実践
 - ・眠れる身体作りに向けた運動を体験しよう
 - ・睡眠導入が期待できる運動の紹介、実践

身体機能セルフチェック（体力測定）

【日程】
令和8年3月13日（金）
【講師】
菊地健太氏
（株式会社はなひろ理学療法士）



- 【内容】
- ①自分の身体を知ろう
 - ・自分の身体機能はどの程度？平均値は？
 - ・身体機能と生活課題の関係は？
 - ②介護予防におすすめの運動
 - ・身体の課題に対する効果的な運動を実践
 - ・日常生活で取り組みやすい運動のご紹介

会場▶保健福祉センター大会議室／定員▶先着40名（要予約）

開催時間▶13時30分～15時／持ち物▶飲み物、動きやすい服装、タオル、やまっぴーカード

参加申込み・お問い合わせ▶保健福祉センター町民福祉課健康づくりグループ（担当：生田目）☎46-4581

※お申し込みは先着順となります。また、参加費は無料です。なお、送迎が必要な方は、事前にご連絡をお願いします。

『ココトレ石井』 ご利用のお知らせ

【利用時間】
月曜日～木曜日（開館日のみ）午前10時～午後5時まで
※利用開始には、初回講習の受講が必要です。
お電話で受講申し込みを受け付けています。
【問い合わせ】
町民福祉課健康づくりグループ☎46-4581



オレンジカフェ「みつばち」

オレンジカフェとは、認知症の方やその家族、認知症に興味のある人などが自由に参加できる集いの場です。

悩み事の相談・情報交換・介護負担感の軽減など、お茶を飲みながらおしゃべりしませんか？

今回のオレンジカフェ「みつばち」では、脳の活性化を促す「脳トレ」と、楽しみながら体を動かすことができる「スポーツレクリエーション（ラダーゲッター）」を組み合わせることで、心身両面から認知症の予防が期待できます。

【日時】
2月17日（火）13時30分～15時

【会場】
矢祭町保健福祉センター大会議室

【内容】
脳トレとスポーツレクリエーション（ラダーゲッター）

【参加費】
無料

【問い合わせ】
矢祭町地域包括支援センター☎46-3770

野菜一皿プラスしてみっぺ！体も心も喜ぶべ！

野菜を食べるメリット

野菜には、体の調子を整える栄養がたっぷり入っています。

【食物繊維】
食後の血糖値上昇を抑制し、便通を整えます。ごぼう、さつまいも、きのこ類など。



【ビタミン】
免疫機能が向上します。にんじん、ピーマン、かぼちゃなど。



【カリウム】
高血圧を予防する効果があります。ミニトマト、アボカド、やまいもなど。



【鉄】
貧血を予防します。小松菜、ほうれんそう、水菜など。

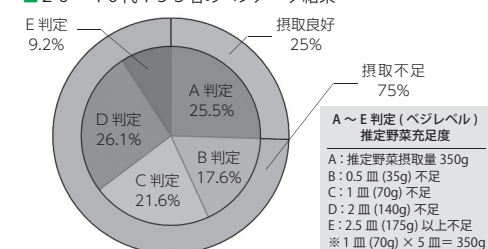


矢祭町の野菜摂取量

成人1日の野菜摂取目標量は350gです。町では、令和7年5月から11月の住民健診等で野菜摂取量測定器で野菜摂取量の評価をしました。

図のように、20～40代の壮年期では、野菜摂取不足と判定された方が75%でした。皆さんは、お野菜を意識して食べていますか？

■20～40代153名のベジメータ結果



野菜摂取量測定を実施します

【日時】
2月16日（月）15時30分～16時30分

【場所】
リオンドール矢祭店

【内容】
ベジメータ®による野菜摂取量を測定します。指を機器に15秒入れて測定できます。野菜をどれだけ摂れているかチェックしてみましょう。



野菜摂取量増加に小鉢1皿プラス

電子レンジで
温野菜



お野菜たっぷりの
汁もの

忙しい時には、
カット野菜や
冷凍野菜を活用



人と人、人とものを繋ぎ合わせ、 誰かの心にそっと落とし込むような 素敵な役を担う人を「綴り人」と呼びたい

惹かれることは無いでしょうか。「言葉こそが人の心の最大の原動力である」これは私の持論です。

言葉というものは触れることはできないけれど、確実にその人個人から生み出されたものであり、視覚化も聴覚化もできる。そして、個人の気持ちや考えがよく表れるものであり、なおかつ発信された言葉によって誰かの心が動かされるという、言葉を発した本人だけで収束するものではない、必ず人と人との間に生まれるものといえるということ。これがこの持論を挙げる私の考えです。

みなさん、例えば耳が不自由な方、病気などの症状で声が出せない方など、自分の意思で発音することが難しい方は言葉が使えない、そう思っていないですか。いえ、そんなことはありません。全てとは言えませんが、それは、先程あった視覚化、聴覚化などを用いて解決ができると考えています。言葉は誰でも使うことができるのです。だからこそ様々なツールとして遠い昔から現代まで消えることなく使われてきたのではないのでしょうか。置かれた状況が違う人とも、今隣にいない人とも、ま

たは時代を超えてすら人と人とを繋ぎ、誰かの心を動かし続けている。そう考えるからこそ、私は先程のような問いかけをしました。あくまでこれは私の持論にすぎませんが、こう考えることで「言葉」という身近すぎるものが神秘的なもののように思えてくるのです。

私は、幼い頃から人のためになる仕事がしたいと思っていました。ですが、歳を重ね自分自身と向き合うことで、直接的に人を救ったりする仕事は自分には向いていないと感じるようになりました。そんなとき、自分は何ができるだろう、何をしたいのだろう、そう自身に問いかけ続けました。ある時は気づいたのです。自分の心がたくさん動いたのはどんな時だろう、それは私にとって「言葉」に触れた時だ、と。本の文章に背中を押されたり、映画のセリフに感動したり、曲の歌詞に美しさを感じたり。そして、自分自身でそんな言葉を紡いでみたいとも同時に考えました。これが私のしたいこと。自分がそうであったように「言葉」がもつ人の心を動かす力で、誰かを励ましたり、時には寄り添ったりしたいのです。

私は初めに言った帯買いをすることも、映画の予告やポスターをみてもその作品を見たくなくともよくあります。それだけでなく読んだ後、見た後にそれだけでなくさらに感動を覚えることも少なくありません。それは、私がそんな「言葉」というものが好きだからです。

人に押しつけるものではなく、聞いてもらえて、見てもらえて、その人の心に触れられる、そんな言葉を紡いでみたい。そしていつか、そんな私だけの、私なりの「言葉」を誰かの心に綴れる人になりたい。だから私は「言葉」の研究がしたい。

「綴り人」それは日記のように大事な思いを書き留めておくこと。また、繋ぎ合わせておくこと。そのように、人と人を、人とものを大切に繋ぎ合わせ、誰かの心にそっと落とし込む。このような素敵な役を担う人たちを、私は「綴り人」と呼びたい。なくとも生きていけるけれど、ないとも寂しい。すべての人とは言えなくとも、誰かににとって大事にしたいと思えるものを、言葉で創る。そんな仕事にいつか携わり、誰かの綴り人になりたいです。

綴り人



白河高等学校1年
深谷 凛さん

人の心を動かせる言葉で、
誰かを笑顔にし、誰かに感動を
与える「綴り人」になりたい

私は将来、「言葉」について研究したいと考えています。

それも特に、人の心に響き、心を動かす言葉。その原理を調査し、私も実際に人の心を動かせる言葉たちを活用して、誰かを笑顔にさせたり誰かに感動を与えたりしたいと思っています。そして、「綴り人」になりたい。それが私の今の一番の夢です。そんな私の夢への話をこの場を借りて話したいと思います。

『日本人であることが罪になる』これは、とある本の帯に書いてある言葉です。ちなみに紹介すると、小手鞠のさんの『星ちりばめたる旗』という本のものです。

さて、ではみなさん、先ほどの言

葉を聞いて、どう感じましたか。どんな内容なんだろう、そんな気持ちがいりませんか。少しでも興味を惹かれませんか。

最近では、本を買う時に「帯買い」というようなワードが登場しています。そんなとき、私は疑問を覚えるのです。

本にはよく、キャッチコピーのような言葉が書いてある帯がついていますが、なぜそれにより人はその作品を読んでみたいと思うのでしょうか。本文を読んだわけでもない、それなのになぜ引きつけられるのか。また、今私は、本での例を挙げましたが、他に映画などではどうでしょう。予告やポスターを見て、心

矢祭町生活者支援商品券を 配布します

昨年に引き続き、物価高騰等により冷えた込んだ町内の消費回復及び町民の生活の下支えを目的に『矢祭町生活者支援商品券』を全世帯に配布します。商品券の配布に申し込みは必要ございません。

この商品券は、共通券として加盟店全店舗で使用可能なものと大型店で使用する事ができない仕様の2種類となっています。

【配布対象者】

矢祭町民の方

【価格・発行内容】

額面総額20,000円(1,000円×20枚)のうち12,000円は共通券として加盟店全店舗で使用可能、残り8,000円は大型店以外の加盟店で使用可能

【使用期間】

令和8年2月16日(月)～
令和8年5月10日(日)

【使用可能店舗】

加盟店一覧については配布時に同封いたします。また、参加加盟店にはそれぞれポスターを掲示いたしますので、ご確認ください。

なお、町及び商工会のホームページ、町フェイスブックでも公開予定です。また、役場窓口と商工会でも配布します。

【問い合わせ】

矢祭町役場事業課地域振興グループ ☎0247・46・4575



医療費のお知らせを 発送します

後期高齢者医療保険の医療費のお知らせ(令和7年1月診療分から12月診療分)は、令和8年2月下旬より順次発送を予定しています。

医療費のお知らせは、後期高齢者医療広域連合が皆様の医療費や健康に関する理解を深めていただくために受診された医療機関からの請求書に基づき、毎年1回送付しています。

医療費のお知らせに関する問い合わせは、コールセンターまでご連絡お願いいたします。

【問い合わせ】

後期高齢者医療保険医療費のお知らせコールセンター ☎0120・101・622 (受付日時) 令和8年1月15日(木)から3月19日(木)までの土日祝日を除く、午前8時30分から午後5時15分まで



～婚活イベント情報～ 2 月号

「おしゃべりカフェ」はこんなところ！

「おしゃべりカフェ」は、美容を楽しみながら気軽に、安心して交流できる場所です。

韓国スキンケア、ジェルネイル、専用機械による脱毛、耳つぼジュエリーなど、嬉しいメニューが充実！

耳つぼジュエリーは、たくさんのデザインの中から好きなものを選んで個数制限なし・何個でもOK！ファッション感覚で楽しめます。服装や雰囲気合わせたスタイル提案も行っているの、トータルでのコーディネートもお任せください！美容師資格を持つスタッフが対応するので、初めての方も安心。お一人でも、お友達と一緒にでも大歓迎。参加費・施術すべて無料です。

お話だけの方も大歓迎です。お友達と一緒に参加も大歓迎！お気軽にお越しください。

「おしゃべりカフェ」Open

【ハッピー&スマイル研究会】
日時▶令和8年3月1日(日) 午前10時～

【おしゃべりカフェ】
談話・ジェルネイル・スキンケア・脱毛無料体験、耳つぼジュエリーも始めました。県内外からの参加者同士「はじめまして」で会話が進みます。

日時▶令和8年3月1日(日) 午後1時～午後4時
令和8年3月4日(水) 午後3時～午後8時

場所▶「リフレッシュふさとランド」

※展望台のライト点灯時は「おしゃべりカフェ」開催中
※結婚に関する相談や婚活情報、プロフィール登録も随時受け付けています。また、矢祭町結婚支援室では、電話での勧誘等は一切行っていません。

～ え に し ～
(56)

人と人を結ぶ
えにしづくりの
きっかけを



おしゃべり
カフェ情報

結婚したいあなたを福島県が応援します
結婚マッチングシステム「はび福なび」

「はび福なび」は、福島県が導入した紹介型のマッチングシステムです。結婚を真剣に希望する男女の出会いを応援するオンライン型のシステムで、ご紹介の他にも会員限定の交流会やセミナー等も行っておりま。福島県内に在住の方、近い将来福島県に移住をお考えの方で誠実に結婚を希望する20歳以上の独身男女が対象です。

入会登録料▶10,000円(2年間)
※入会登録料については、補助金の対象となります。詳しくは矢祭町結婚支援室までお問い合わせください。



▲矢祭町役場

【矢祭町結婚支援室】

リフレッシュふさとランド内
☎46・4884
E-mail ▶yamatsuri.project@gmail.com
(E-mail での相談可)

詳しい内容はQRコードまたは矢祭町HP「婚活イベント」で確認できます。



入札結果

工事名	入札日	(予定価格) 契約額	落札者	工事場所	工期
令和7年度普通河川 コブ川河道掘削工事	令和7年 12月19日	(3,432,000円) 3,366,000円	佐川建設(株) 代表取締役 佐川怜	宝坂字 高野谷地内	令和7年12月19日～ 令和8年3月27日
令和7年度普通河川 小田川河道掘削工事	令和7年 12月19日	(3,696,000円) 3,575,000円	(株)グリーンサービス福島 代表取締役 菊池忠夫	大垣字 明神地内	令和7年12月19日～ 令和8年3月27日
令和7年度大垣字町地内(北 側)地下消火栓移設工事	令和7年 12月19日	(2,376,000円) 2,310,000円	緑川建設(株) 代表取締役 近田昌弘	大垣字 町地内	令和7年12月19日～ 令和8年3月31日
令和7年度スインピア矢祭真 空ヒーター熱交換器修繕工事	令和7年 12月19日	(3,430,900円) 3,100,000円	野内商事(株) 代表取締役 野内忠勝	東館字 蔵屋敷地内	令和7年12月19日～ 令和8年3月31日
令和7年度戸津辺の桜 駐車場整備工事	令和7年 12月25日	(17,501,000円) 17,160,000円	佐川建設(株) 代表取締役 佐川怜	中石井字 戸津辺地内	令和7年12月25日～ 令和8年3月20日

※町が発注した、予定価格が200万円を超える工事の入札結果を公表します。

矢祭町地域おこし協力隊は、町外のさまざまな地域から集まり、地域づくりに貢献しています。

現在町内にいるのは6名。各メンバーは、JR水郡線東館駅を中心とした地域の場づくり、デジタル推進、読書の町づくり推進、スポーツ振興など、多岐にわたるジャンルで活動中です。町内で協力隊の活動をお見かけの際は、お気軽にお声がけください！

Volume.99
2026.2Update

矢祭町地域おこし協力隊

活動ダイアリー

地域おこし協力隊って？

「地域おこし協力隊」とは総務省が実施する制度です。隊員は都市部等から地方に移住し「地域活性化のための活動」を業務として日々取り組んでいます。

任期は最大3年間。学校や図書館と連携し活動をする、イベントを企画して人と人の交流を増やす、町の人が集まれる場所を運営する…等々、それぞれのやり方で活動しています。また、隊員は皆違う地域から移住してくる為生活でも慣れない事や新しい事に沢山出会いながら、ここ矢祭町で暮らしています。

出身も経歴も全く異なる私たちですが、「この町でどんなことが出来るだろう？」と全員が考え試行錯誤していますので、町で見かけた際はどうぞよろしくお願いします！



こんにちは。デジタル推進担当の若林です。お正月は実家に帰省して家族との時間を過ごしてきました。久々の再会でリフレッシュできたのはもちろんですが、何より刺激を受けたのが、受験を控えた弟の姿です。机に向かう彼のひたむきな姿を見て、私も何か新しいことに挑戦したいという前向きな気持ちが湧いてきました。そんな弟に感化され、私も心機一転、漢字検定の勉強を始めることにしました。学生時代とはまた少し違う、自分の意志で向き合う勉強は、とても新鮮な気持ちです。

さて、勉強といえば、先日デジタル部の皆さんと一緒にスマホ相談会のサポートをしました。参加者の皆さんと一緒に学ぶことが多く、非常に充実した時間となりました。中学生の献身的なサポート姿勢はとっても立派で、これからの相談会の在り方を示す素晴らしいお手本だったと思います！

矢祭町での活動も、まもなく2年目という節目を迎えます。学び続ける姿勢を忘れず、一步步成長していきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお願いいたします！

若林奈那 Nana Wakabayashi
デジタル推進担当

東京都中野区出身。専門学校卒業後、地域おこし協力隊に就任。ゲーム、ドラえものの映画、食べることが好きです。



Instagram

Check!



読書の町づくり担当の畠山です。寒さで春が待ち遠しいこの時期、家に居る時間が増えたな、という方もいるのではないのでしょうか。読書推進担当としてはここで本を押したいところですが、1月にかかるイベントを開催した事もあり、何人かで集まってアナログゲームを楽しむのもお勧めしたいです。

かるた大会では百人一首を使用することになり、競技かるたについて今回初めて詳しく調べました。「決まり字」の知識、札の配置、「囲い手」などの戦術を知り、「かるたじゃない。競技だこれ。」という感想が素直に出てしまいました。また、こんな風にかかるたに取り組む人もいると知り、自分のかるたに対する見方も変わったと感じます。

「知った気であるものを改めて知って、体験してみる」と、思いの外に新鮮味のある時間が得られました。もし最近退屈しがちな方が居ましたら、試してみたいかがでしょうか。特に興味あるものが無い方は、かるたお勧めですよ！

知識の入り口にはまず本を手にとってみてください。読破できるかは置いておき、図書館などで気になるものを選んでみるだけでも、面白い最初の一步になると思います。

畠山青哉 Seiho Hatakeyama
読書の町づくり担当

東京都清瀬市出身。前職は絵本の製本屋に勤務。甘いものとコーヒーとお茶が好きです。割とよく食べます。



Instagram

Check!



眞野夏凜 Karin Mano
読書の町づくり担当

青森県むつ市出身。短大卒業後、地域おこし協力隊に就任。読書、音楽を聴くのが好き。最近は backnumber ばかり。



Instagram



Facebook

Check!



今年の恵方は
南南東!

Library letter

図書館だより

2026
2

節分を迎えたら、春の到来までもう少し♪
季節の変わり目の寒暖差にお気をつけください。

PICK UP

2026.1.23 (金)

やまつりこども えほんまつり 布紙芝居なにぬの屋 渋沢やこさん講演

もったいない図書館開館 19 周年を記念して、「布紙芝居なにぬの屋 渋沢やこさん」のおはなしかいを、やまつりこども園で開催しました。
布の優しい風合いの紙芝居で、ブラジル民話「かめのこうらはひびだらけ」と、おなじみの昔ばなし「いっすんぼうし」が披露されました。
カンカンカンと調子の良い拍子木のリズムで始まったおはなしかいは、歌や笛の音の演出もあり、園児と保護者を物語の世界に引き込み、笑い声に包まれた楽しいひと時となりました。

EVENT

2.5 (木) 10:00 - 12:00
THURSDAY
あかちゃん・プレママ・プレパパ おはなしかい
もったいない図書館 特別書庫

2.15 (日) 10:00 - 11:00
SUNDAY
出前おはなしかい
・下石井農村集落多目的共同利用施設
・中石井公民館 (小野沢) ・高山公民館

2.19 (木) 10:00 - 12:00
THURSDAY
大人のためのおはなしかい
もったいない図書館 特別書庫

3.5 (木) 10:00 - 12:00
THURSDAY
あかちゃん・プレママ・プレパパ おはなしかい
もったいない図書館 特別書庫

RECOMMEND

「あかちゃんおはなしかい」のお知らせ

毎月第一木曜日に開催の「あかちゃん・プレママ・プレパパおはなしかい」は、妊娠中の方、0～3歳までの乳幼児とご家族向けのおはなしかいです。
絵本や紙芝居の読み聞かせ、手あそび歌や簡単な工作も楽しめますよ。3歳未満のお子さんとご家族の方は、ぜひご参加ください。

INFORMATION ● 今月の休館日：毎週月曜日 お問い合わせ：矢祭もったいない図書館 ☎ 46-4646 FAX: 57-7500

まちの駅 やまつり

利用無料

- 休憩スペース
- トイレ

営業時間

平日 8:30 ~ 17:00

H P

Facebook

■休憩スペース (無料)
ちょっとした休憩やトイレ、フリー Wi-Fi の利用、コーヒー・紅茶等の無料提供、地域の観光案内、もったいない文庫の取り扱いも行っています。
待ち時間やお買い物の途中など、お気軽にお立ち寄りください。

【買ってくっぺ便】には、買い物代行と移動販売があります

■買い物代行

お買い物にお困りの方はまちの駅やまつりまでお電話ください
町内で購入出来る商品を登録料・手数料無料でお届けします。

登録

まちの駅までお電話を
いただきましたら、後日
担当がご自宅まで伺い
します。その際に、申込書
を記入していただき
登録は完了です。

注文

電話受付時間
平日 9 時から 11 時まで
まちの駅にお電話
ください。
品物おひとつから
配達いたします。

配達

配達時間
当日 14 時から 16 時頃
※配達時間が前後する
場合がございます
お届けの際に現金で
お支払いください。

お気軽にご注文
ください

担当：小端 (干)・柴田 (恵)

【問い合わせ】

まちの駅やまつり ☎ : 0247-57-5659 FAX : 0247-57-5660

■移動販売

●到着時間が前後する場合があります

お菓子、お惣菜、
日用品など取り揃え
ております

月曜日
★内川地区
・金澤 利光さん宅 (13:35 頃)
・芳賀 きよ子さん宅 (14:00 頃)
・茗荷地区 (14:30 頃)

火曜日
★石井地区
・やまつりファーム (13:20 頃)
・和田 始子さん宅前 (13:40 頃)
・櫻の苑 (13:45 頃)
・舟見地区 (14:30 頃)
・せせらぎ荘 (15:00 頃)

水曜日
★宝坂・追分地区
・竹野内地区池の前 (13:30 頃)
・鶴ヶ池/バス停 (14:40 頃)
・古市 文雄さん宅前 (15:10 頃)

木曜日
★下関・大井地区
・中山ニュータウン (13:30 頃)
・菊池 二郎さん宅 (13:45 頃)
・天神前/バス停 (14:00 頃)
・古市埋容室前 (14:10 頃)
・佐川商店前 (14:30 頃)
・折屋 (15:00 頃)

担当：鈴木 (尚)・松本 (幸)

※大雨、降雪時は運行を休止する場合があります。また、予告なしに運行を休止する場合がございます。

短歌 矢祭町短歌会一月詠草

里山の雑草広く刈りし跡
朝陽あたりて白くかがやく
片野 盛好

新年に集いし親族十七人
卒寿のわれに「寄せ書き」成せり
片野 税子

三万の限界集落あると知る
十年後の日本どうなる
松本 義勝

つつがなく迎えし新年ことほぎて
穏やかにしと神殿に拝す
佐川 文江

日溜まりに季節忘れず福寿草
花芽をつけて春の陽にいる
星 初枝

都会より嫁さん連れて店を継ぐ
ふたりの未来にエールを送る
齋藤 吉民

川柳 山野井金沢鶴集會

急がない愛の扉の開くまで
頑丈な扉和の世は来ないのか
陸 男

玄関の奥の扉に何がある
通 夫

本の扉どんなお話待っている
フサ子

新総理時代の扉開けるか
千世子

人生の扉をひらき今日元氣
しのだ

大谷が開けた扉は異次元だ
友 子

扉にも口にも力ギ掛けで用心
周 平

栄光の扉をドジャースが開ける
フチ子

どの店も自動扉でハイタッチ
タケ子

諸中東平和の扉今一步
イエ子

玄関がにぎやかなりし孫来たる
原 敏伸

恐ろしい扉やぶつて熊入る
由美子

藤右衛門公やこんにやくに関する意見を交換

▶ 藤衛門講

12月25日(木)、常陸大宮市の諸沢地区で開催された「中島藤右衛門公を学んで・知って・感謝の集い」に佐川町長が参加したことを縁に、中島諸沢区長と事務局の堀江氏を招待し、町内で藤衛門講が行われました。この講では、町こんにやく生産者協議会や関係者が集まり、藤右衛門公の功績やこんにやくに関する意見交換が実施されました。



町内の無火災・無災害を願う

▶ 矢祭町消防団出初式

1月4日(日)、令和8年矢祭町消防団出初式が矢祭中学校校庭にて挙行されました。今年も山村開発センター駐車場から矢祭中学校までの道程を堂々と行進し、地域住民へ無火災を呼びかけました。また、式典では、規律正しい観閲・通常点検ののち、各種表彰等が行われました。

行財政の健全な運営を目指して

▶ 監査委員選任書交付式

1月5日(月)、役場第1会議室において監査委員選任書交付式が行われ、昨年12月の町議会定例会で選任に同意された藤田義広さんに行財政の健全な運営を目指し、佐川町長から選任書が交付されました。任期は令和8年1月6日から令和12年1月5日までの4年間となります。

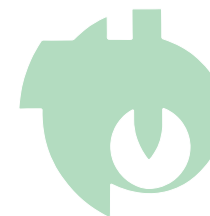


絵本文化のまちづくりについて意見を交わす

▶ 令和8年品川区新年賀詞交歓会

1月6日(火)、令和8年品川区新年賀詞交歓会に佐川町長が出席しました。会場では、矢祭町と同様に読書活動に力を入れている品川区の森沢区長に第16回手づくり絵本コンクールの最優秀賞作品を贈呈し、絵本文化をはじめとするまちづくりについて意見を交わしました。

TOWN TOPICS



まちの話題

身近な情報を寄せてください。 自立総務課総務グループ
TEL 0247-46-3131 FAX 0247-46-3155



森林の整備・再生の推進に向けて

▶ 東白川地方の森林整備の推進に関する要望書提出

12月22日(月)、役場町長室において東白川郡森林組合の富永盛彦代表理事組合長らが来庁し、東白川地方の森林の整備・再生の推進に向け、森林環境譲与税を活用した補助事業の創設やふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業の予算確保について町に要望しました。

長年にわたる園芸業界での功績を称えられ

▶ 旭日単光章等受章(受賞)報告

12月22日(月)、役場町長室において長年にわたる園芸業界での功績を称えられ、内閣総理大臣より旭日単光章を受章、さらに園芸文化協会会長より園芸文化賞及び福島県知事より表彰状を受賞した(有)矢祭園芸の金澤美浩さんが来庁し、佐川町長に受章(受賞)の報告をしました。



受験生にエールを贈る

▶ 合格さんバッジ贈呈式

12月23日(火)、矢祭中学校において町観光協会主催の合格さんバッジ贈呈式が行われました。同月、矢祭山公園にある夢想滝近くの合格さん地蔵前で、中学校3年生の合格祈願が行われ、パワーが封入されたバッジが町観光協会会長である佐川町長から生徒代表へ手渡されました。

ツキノワグマについて理解を深める

▶ 東白川地域鳥獣被害防止広域対策研修会

1月16日（金）、山村開発センター視聴覚室において東白川郡内4町村の担当職員向けに近年出没や被害が増加しているツキノワグマについて研修会が開催されました。参加した職員は、県南農林事務所のほか、特定非営利活動法人おーでらすより専門的な知識や対策の手法について学び、熊への理解を深めました。



3団体合同で閉級式を迎える

▶ 生涯学習合同閉級式

1月17日（土）、山村開発センター大集会室において、令和大学・女性団体連絡協議会・ふるさと探検隊の合同閉級式が行われ、各団体の代表者がそれぞれ1年間の活動に対するお礼のことばを述べました。また、式終了後には令和7年度最後の講座が行われました。

美しいチョウの標本や関連資料が並ぶ

▶ 昆虫標本展示会

1月19日（月）から1月23日（金）までの期間、矢祭中学校においてヘルマン・ヘッセの短編小説「少年の日の思い出」をテーマにした昆虫標本の展示会が開催されました。室内には、美しいチョウの標本や関連資料が並べられ、生徒たちの興味・関心を惹きつけました。



内堀知事と貴重な意見を交わす

▶ 福島県知事との意見交換会

1月23日（金）、福島市において福島県知事との意見交換会が開催され、佐川町長が出席しました。この会では、内堀知事と佐川町長が教育行政や防災行政等に関する意見を交わし、さらに福島県との交流や地域の連携についても活発な議論が行われました。

情報との適切な向き合い方を学ぶ

▶ 親子教育講演会（情報モラル）

1月13日（火）、矢祭中学校において一般社団法人インターネット・ヒューマンライツ協会代表のスマイリー・キクチ氏を迎え、「中学生を取り巻くネットの現状と親子で考える情報モラル」をテーマとした親子教育講演会が行われました。参加した生徒や保護者は、インターネットを介する情報との適切な向き合い方について学びました。



人権尊重思想の普及のために尽力

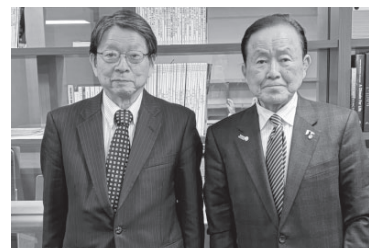
▶ 矢祭町人権擁護委員委嘱状伝達式

1月13日（火）、矢祭町人権擁護委員委嘱状伝達式が役場第1会議室にて行われ、佐川喜則さんと嘉成陽子さんに佐藤福島地方法務局白河支局長から委嘱状が伝達されました。なお、任期は令和8年1月1日から令和10年12月31日までの3年間となります。

だんごさし行事で無病息災を願う

▶ やまつりこども園だんごさし

1月14日（水）、やまつりこども園各教室のテラスにおいて、だんごさし行事が行われました。幼児教育部の園児が各教室で赤・緑・黄色・白のだんごをそれぞれ作り、ミズノキに縁起物の飾りとともにだんごをさしてテラスの柱に設置し、1年間の無病息災を願いました。



読書のまちづくりについて意見を交わす

▶ 片山善博氏表敬訪問

1月14日（水）、総務大臣や鳥取県知事を務めた大正大地域構想研究所長の片山善博氏を表敬訪問し、読書のまちづくりについて意見を交わしました。今回の訪問は、矢祭町が受賞した第18回高橋松之助記念「文字・活字文化推進大賞」で片山氏が選考顧問を務めていたことを縁に実現しました。

議会だより



やまつり

第8回定例会 12月8日～12日

矢祭町監査委員の選任原案通り全会一致可決！

12月定例議会は、12月8日から12日までの5日間の会期で開催されました。初日は町長から提案理由の説明が行われ、続いて担当課長から議案の内容説明がありました。2日目と4日目は一般質問が行われ、8名の議員が登壇し町に質問をしました。3日目は議案調査のため休会。5日目の最終日は議案審議が行われ、条例の制定1件、条例の一部改正7件、令和7年度各会計補正予算6件、人事案件1件が提案され、合計15議案が原案のとおり可決されました。また、追加議案として条例の一部改正2件、議員提出案件の意見書1件が提案され、1議案と意見書1件が原案のとおり可決されました。



条例

◎矢祭町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定（議案第64号）

「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」により「児童福祉法」が改正され、乳児等通園支援事業・通称「こども誰でも通園制度」が創設されました。

本町においても地域の子育て支援の充実を図るため、新たな条例を制定するものです。

◎矢祭町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例（案第65号）

「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」の公布に伴い、仕事と育児の両立支援制度を利用しやすい勤務環境の整備を図るため、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例（議案第66号）

「地方公務員の育児休業等に関する法律の一部を改正する法律」の公布に伴い、

新たな部分休業制度に関する条例委任事項を定めるなど、部分休業の取得パターンの多様化に関し、関連する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（議案第67号）

「国会議員の選挙等の執行経費の基準に関する法律の一部を改正する法律」の公布に伴い、選挙長などの日額報酬について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例（議案第68号）

福島県人事委員会の勧告に伴い、民間給与との格差

を埋めるため、若年層に重点を置きつつ、全ての号給の給料月額を引き上げるとともに、一般職員及び定年前再任用短時間勤務職員の期末及び勤勉手当の年間支給月数を引き上げるため、関連する条項について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（議案第69号）

「児童福祉法の一部を改正する法律」の公布に伴い、国家戦略特別区域に限り認められている「地域限定保育士」制度が一般制度化されたため、条例中の「保育士」資格に言及する条文に

ついて、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（議案第70号）

「児童福祉法の一部を改正する法律」の公布に伴い、国家戦略特別区域に限り認められている「地域限定保育士」制度が一般制度化されたため、条例中の「保育士」資格に言及する条文について、所要の改正を行うものです。

◎矢祭町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例（議案第71号）

人口の減少及び就業形態等の多様化により、団員確保に苦慮していることから、定員を300人から35人減らし、265人とするものです。

◎矢祭町長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例（議案第80号）

福島県の特別職に支給される期末手当の引き上げに伴い、町長等の特別職に支給する期末手当の算定基礎

補正予算

◎令和7年度矢祭町一般会計補正予算（議案第72号）

額に乗ずる割合を改定するため、所要の改正を行うものです。

歳入における普通交付税の増、法人町民税、及び新規就農者育成総合対策事業補助金の減、歳出における県人事委員会勧告に伴う職員給与、ユーパル矢祭指定管理委託料、財政調整基金積立金戸津辺の桜第三駐車場整備工事、及び栗木平橋橋梁補修工事の増、新規就農者育成総合対策事業補助金、及び滝川溪谷遊歩道木橋整備工事の減が主な補正の内容です。

◎令和7年度矢祭町国民健康保険特別会計補正予算（議案第73号）

歳入における職員給与等繰入金金の増、歳出における県人事委員会勧告に伴う職員給与の増が主な補正の内容です。

◎令和7年度矢祭町宅地造成事業特別会計補正予算（議案第74号）

令和7年度各会計別補正予算状況（議案第72～77号）

（単位：千円）

会 計 名		既定額	補正額	予算総額
一 般 会 計		4,972,911	92,857	5,065,768
特別 会計	国民健康保険	621,332	712	622,044
	宅地造成事業	16,237	0	16,237
	介護保険	628,994	190	629,184
	後期高齢者医療保険	158,697	2,665	161,362
水道事業	収益の収入	159,322	190	159,512
	収益の支出	159,079	190	159,269

人事案件

◎監査委員の選任（議案第78号）

地方自治法第196条第1項の規定により議会の同意を求めるものです。

監査委員に

藤田義広氏



任期は令和8年1月6日から令和12年1月5日まで

全会一致で、選任することになりました。

請願・陳情

請願

◎提出された請願は、所管の常任委員会に付託され、本会議において審査結果が報告されました。

○防衛省「まるわかり！日本の防衛 はじめての防衛白書」の小学校への直接送付をやめることを求める意見書の提出について

答

一般質問（要旨）

12月議会定例会の一般質問は、9日と11日に行われ、8議員が登壇し町政全般について執行部の考えを質しました。

鳥獣被害対策・一般・福祉・土木行政



藤井隆治議員

街地等の人がたくさんいる地域に出没した場合、追い払いや有害捕獲、それから緊急銃猟実施も視野に入れた対応ということになる。

問 9月から施行された改正鳥獣保護管理法において、人の生活圏に入った熊に対して、人に弾丸が当たるとおそれない等の条件を満たす場合、市町村の判断で緊急銃猟ができることになったが、矢祭町では町長の判断でどのようなことまでできるのか伺う。

答 事業課長

鳥獣の保護及び管理並びに猟銃の適正化に関する法律で定める4つの条件が満たされ、実際に現場にて行政、警察署、猟友会と協議の結果、安全確保のため緊急銃猟の実施やむを得ずとなった場合、町長の判断に

契約

◎令和7年度農道東山線舟ヶ沢橋脚補修工事請負変更契約の締結（議案第63号）

令和7年6月13日に、議会の議決を経て契約を締結した「令和7年度 農道東山線舟ヶ沢橋脚補修工事」について、工事請負変更契約を締結するため、地方自治法第96条第1項第5号及び議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき、議会の議決を求めるものです。

議員提出議案

意見書

◎米の安定供給等を求める意見書（発議第6号）

第7回臨時会

令和7年第7回臨時会は、11月14日午前10時に招集され、請負変更契約の締結1件が提案され、原案のとおり可決されました。

陳情

◎福島県地方自治研究会会長 吉田孝司様より次の陳情がありました。

◎大規模太陽光発電（メガソーラー）に関する意見書を県に対して提出することを求める陳情

◎宇井 淳様より次の陳情がありました。

◎mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情書

◎全日本年金者組合福島県本部執行委員長 佐藤征司様より次の陳情がありました。

◎物価上昇に見合う年金引き上げを求める意見書の提

より実施することができることになっている。

問 鳥獣被害対策実施隊員の報酬があまりにも低く、町民の人命、財産を守る立場にある人に対して安すぎる、もう少し保障してよいのではないか。また、自衛隊や警察官が発砲して捕獲した場合、捕獲鳥獣の処分はどこが担当するのか、伺う。

答 事業課長

鳥獣被害対策実施隊員の報酬は、1人当たり年額報酬3,000円。イノシシ1頭当たり、2万円の捕獲報酬が支給されている。その他、被害調査や見回りに1日5,000円、カワウ、サギ等を駆除した方には1羽当たり5,000円を支給している。処分については、基本的には地元自治体と捕獲実施隊で協議して行う。

問 町では、防護盾とか熊スプレーなど、緊急事態の対応をできるような、防具等は用意はされているのか。

答 事業課長

熊スプレー等は、購入予定である。

質問 各地区公民館へのエアコン設置について

問 近年、エアコンがない公民館がたくさんある。来年の夏に向けて新しい助成等の取組ができるのか。

答 自立総務課長

近年の気象状況を鑑みれば、地域の集会施設における各種イベント、投票所や避難所としての活用等にも配慮し、助成については当初予算編成の中で検討していきたい。

質問 産婦人科について

問 塙厚生病院で出産ができなくなり、大変不便になっている方がいる。何とか茨城県の医療機関との連携できないか。

答 町民福祉課長

妊婦健診は無制限、妊婦の歯科検診は1回、妊婦の産後健診は2回、町で補助している。福島県内についてはオプション等がなければ

答 町民福祉課長

これまで、月末を過ぎても申請があった場合でも対応している。

質問 建設会社の通年できる仕事に関して

問 建設会社は自治体経営にとつて、重要な立場にある。各建設会社では人材不足や仕事不足により、業務や経営に大変苦労しているが、仮に1社なくなれば、有事の際には大変な戦力減になる。各地区の建設会社には存続してもらえないといけない。町の考えを伺う。

答 事業課長

地域の建設会社には長年にわたり道路、河川、公共施設など住民生活を支える基盤の維持管理を日常的に担っていただいている。地元建設会社が倒産等すれば、災害時の対応が遅れ、地域の防災力の弱体化は避けられない。そのため、建設会社が継続して地域を支える体制を維持できるように定期的、また継続的な工事発注の確保、それから小



片野一也議員

質問 役場庁舎建設基本構想について

問 新庁舎建設構想について、役場機能のみならず、町民コミュニティも含めて多目的活用を図り、複合施設として整備すると聞いている。本プロジェクトの進行について伺う。

答 町長

庁内に公共施設整備検討委員会を設置し、住民のアンケートや職員等のアンケートの結果を基に庁舎の複合施設的な整備を考えている。町民説明会を速やかに開催したい。

問 役場庁舎移転ということになる場合、現存する庁舎については取り壊すということになるが、跡地の活用の方法はどう考えているか。

答 町長 町民の声を吸い上げながら、中心地の活性化も考慮し考えていく。

質問 老朽化施設の改修・処分のあり方について

問 現有施設を維持管理していくことについて、今ある施設を取り壊すとか、維持補修して継続的利用を図っていくなど、町保有の財産として、健全財政を目指す観点から、施設の在り方というものはつきりさせておく必要があると思うかがか。

答 町長 矢祭町の公共施設等の総合管理計画を策定し、計画性を持ちながら、跡地の問題、老朽化のことも視野に入れて、検討はしなければならない問題だと思っている。

問 不要な資産については企業誘致と絡めて売却を考えてもいいのではないかと、思うが、町長に伺う。

答 町長 空き校舎の件もいろいろな形で問合せもある。福島県東京事務所にもいろいろ出向いているので、情報を取りながら対応していきたい。

問 矢祭山と館山の問題と館山荘の在り方の問題を伺う。

答 事業課長 ふれあいターミナルについては、27年が経過し、令和2年から令和11年の間に計画改修ということになっている。総合案内施設は32年が経過しているが、10月から地域活性化起業人の活動拠点ということで活用している。

高齢者活動施設は、用途廃止等を検討していくことになるかと思う。
それから、館山ランドは32年経過し、何回か改修等を重ね、維持管理に努めて

いる。施設内に結婚支援室もあり、おしゃべりカフェ等を実施し、活用している。

答 町民福祉課長

館山荘は、指定管理の期間に合わせ現時点では令和10年度に建設、令和11年度に新デイサービスセンターをオープンしたい。在宅介護において、ヘルパーとお風呂の問題は、高齢者のためには必要な施設である。また、災害が起きた場合に妊婦、障害者、高齢者等が避難する場所となつていく。

質問 防災協定の締結先及びその経緯、詳細と交流強化について

問 本年9月に江東区と災害時等における防災協定を結び、その前にも品川区と同様の協定を結んでいるほか、その他の近隣の自治体、それから民間事業者等との協定も結んでいると聞いている。これら協定を結んだ相手方、なぜ相手方として当町なのか、協定に至った経緯、協定の詳細について

伺いたい。

また、相互協定を結ぶに当たって、普段からの交流があつてしかるべきと思うが、交流人口の連携拡大を図りながら、どのようにして友好関係を維持していくのか、併せて伺う。

答 町長

もったいない市場の縁が強い。今後、交流人口も防災の中で、観光、子どもたちの文化交流、こういったものも想定しながら進めていきたい。

問 町民にとってこういったものは安心感につながる。広報していただければと思うが、いかがか。

答 町民福祉課長

民間では24の事業所、佐川急便やSMC等と結んでいる。協定ごとに内容も少し違うが、町民が安心して生活するためにどうあるべきかということを総合的に判断して結んでおり、広報等でお知らせをしたいと思う。

質問 地域活性化に寄与する観光振興策について

問 矢祭山は、町民にとって特別な存在であるが、観光客が来ても消費行動が伴わない、これは町にとっての大きな損失ではないか。そういった中で、先頃、キャンプ場の誘客促進というところで、矢祭町地域活性化起業人2名を委嘱した。町は矢祭山のキャンプ場をどのような形にしようとしているのか。また、この起業人に何を託し、何をやらうとしているのか伺う。

答 町長

観光誘客は、大子で約100万人、キャンプも約4から5万人、そこから見ると矢祭山のキャンプ場は、整備もPRも足りない。最近は鮎の里公園等いろいろ整備をして、だんだん集客は増えてきている。これからの高齢化社会の中で心の豊かさ、そういったものが観光の大事な資源だと思っている。

答 事業課長

地域活性化起業人は、10月から2名の方が着任しており、事業の企画や実施、予約方法のDX化などを進めている。

キャンプ事業と掛け合わせることで観光産業の活性化につなげ、関係人口、交流人口の増加を図りたいと考えている。10月10日から12日に、ファミリーキャンプや11月23日には、地域おこし協力隊とコラボして、鮎の里公園にて焚き火と珈琲というイベントを実施した。

問 地域の地場産品の開発や販売戦略、何よりも地域の雇用の創出をしていただきたい。町民がわくわくするような方向性、そういう拠点づくりを進めていただきたい。

答 町長

民間の参入について、PP/FFI等の活用も視野に入れるのが今の国の施策である。民間と行政とで融合しての活用というのは大事だと思っている。

一般・教育、文化・行財政・福祉行政



大森泰幸議員

質問 令和8年度予算と第7次総合計画について

問 次年度予算編成のスケジュールを伺う。

答 自立総務課長

各課からの予算要求は、12月17日が締切りとなっており、財政担当ヒアリングを年内には終わらせることとしている。その後、内容精査の上、取りまとめを行い、1月下旬に町長査定を予定している。

町長から来年度に向けて検討課題などの話はあったのか、伺う。

答 自立総務課長

町長からは、令和8年度当初予算編成方針として、本町の財政見通しを踏まえつつ、現在策定中の第7次

矢祭町総合計画や矢祭町総合戦略、矢祭町過疎地域持続的発展計画との整合を図るようにとの指示があつた。

問 第7次総合計画の審議会の内容を伺う。

答 自立総務課長

第1回の審議会を10月29日に開催し、30名の委員に委嘱状を交付した。
問 委員の構成について伺う。

答 自立総務課長

町づくり団体、PTA、金融機関、スポーツ団体、農業、運輸、漁業、商業などの産業分野、教育関係者、公募委員として5名のほか、議長、副議長にも参画をしていただき、30名の方を委嘱した。

問 議長、副議長に発言のしばりはあるのか、伺う。

答 自立総務課長

いろいろ見識があるかと思うので、意見をいただき、庁内の検討委員会において、具体的施策に反映させている。

問 第2回目の審議会と議会との関わりを伺う。

答 自立総務課長

本日と年明けに審議会を開催する予定としている。いろいろ具体的施策が出てきた段階で議員の皆様にも説明は行っていきたい。

問 3回目の審議会では答申をすると考えてよいのか。

答 自立総務課長

第4回目の審議会において答申をいただけるよう進めていきたい。

問 パブリックコメントは、いつやる予定か。

答 自立総務課長

総合計画策定に当たっては、パブリックコメントの予定はない。
問 議員への説明の用途はいつと考えて、準備しているか。

答 自立総務課長

素案がまとまった段階で、一旦は説明させていただき、その後、議会に上程する必要があるのか、改めて全員協議会等で説明をさせていただきます。

質問 庁舎と中央公民館建設に関わる委託事業について

問 委託事業はどのように進んでいるのか、伺う。

答 自立総務課長

複合施設整備事業の基本構想策定については、必要となる機能等の調査をしている。

問 複合施設に係る説明もないが、これは間に合うのか。

答 自立総務課長

複合施設整備に係る基本構想策定等については、3月31日が工期となっており、それに向けて作業している。

問 調査結果の分析というのは、3月31日までの間で検討は着々と進めているのか。後々、第7次総合計画との不釣り合い、不都合が起らないようにしているのか。

答 自立総務課長

複合施設整備基本構想策定に当たっては、庁内の検討委員会を開催し、必要となる機能等について検討し

ている。総合計画とは整合が取れるようにしている。

問 資料の提示は、いつ頃になるか。

答 自立総務課長

1月を目途に町民説明会を予定しているが、その前に、議員の皆様の説明をする予定でいる。その後にはパブリックコメントの実施を考えている。

問 パブリックコメントについては何をやるか。

答 自立総務課長

複合施設整備基本構想案ができた段階で、町民の方に見ていただき、ご意見をいただきたい。

問 東館駅の周辺の整備計画において、JRのスリム化事業はどのように位置づけているのか、伺う。

答 自立総務課長

水郡線の運行を今後も続けていく上で、経費を削減するために必要な判断であったと思う。スリム化事業に合わせて、JRの通信設備室の撤去や、これから駅舎や駅トイレの解体、仮

設駅舎の設置等については、JR側で対応していただけのことになっている。町としては大きな負担軽減につながっていると考えている。

問 第7次総合計画にはどのような形で入ってくるのか。

答 自立総務課長

東館駅舎の整備というところで、具体的な施策として上がってくる。

問 東館駅周辺、町の中心地だという認識は変わりないと思うが、町の中心地に関わって庁舎との整合性はどのように考えているのか。

答 町長

水郡線の利用、観光情報の発信、駅周辺の活性化など、今後、駅を中心とした計画が進められると思っ

問 具体的に町民に説明できるような資料を出す段階にはないのか。

答 自立総務課長

基本計画についても、議

員の皆様にも説明をする考えであり、準備ができ次第、パブリックコメントを行い町民の意見をもらうこととしている。

問 国の重点交付金について伺う。

答 自立総務課長

重点支援交付金の活用推進事業メニューとしては、食料品の物価高騰等に対するさらなる取組として、プレミアム商品券の発行やおこめ券の配布などが挙げられているほか、子育て世帯を支援する子育て応援手当として1人当たり2万円の支給などがある。内容を精査しながら取り組んでいきたい。

問 おこめ券について今後の施策としてどのように受け止めているか伺う。

答 自立総務課長

おこめ券は、米の購入だけに限らず、商品券というような側面もあるようだが、それが町の商店振興につながるのかというところはよく考えなければならない。

問 おこめ券そのものを発行しないやり方を町としてできるかどうか、伺う。

答 自立総務課長

他の自治体では、そのようなことを表明されているところもあるようだ。

質問 矢祭町の文化教育振興策について

問 昆虫館の位置づけについて今の状況を伺う。

答 教育長

昆虫館は世界的に貴重な蝶や日本でも有名な蝶などを展示しており、学校の学習の場としてだけでなく、社会教育の場として地域住民の皆さんの学びを促進する近隣にはない貴重な施設であると認識している。小中学校の理科はもちろんのこと、国語科に関連する内容も非常に多いということ、来年度以降も小中学生の学習の場としても利用させていただきたいと考えている。

問 来年度以降どういう形での支援があるのか、金額的な問題について限定して

伺う。

答 事業課長

福島奥久慈昆虫館には、空き家対策総合支援事業を活用して補助を行う予定である。こちらの事業は、国、町、事業者が3分の1ずつ負担をして、昆虫館の敷地内にある母屋改修費用を助成する予定で、令和8年度は、昆虫館より支援事業等についての要望がない。

問 7年度の執行状況は、はどういう状況であるか。

答 事業課長

執行については、まだ補助金の支出はしていない。今年度中に事業が終わるという予定で、進めている。

問 文化祭、元氣祭についてそれぞれお伺いしたいが、今年度の予算、これはどうなっているか、それどれ伺いたい。

答 教育課長

町文化祭事業に係る事業の予算は、主に町からの支出と矢祭町文化団体連絡協議会費からの支出となっており、それぞれ必要に応じ

た額を支出している。今年度の町文化祭予算は合計で37万9,000円であり、その内訳はユール矢祭の会場使用料や事務用品の購入費となっている。

答 事業課長

元氣祭は、来場者数が前年度より630人多い2,430人で、出店ブースのほうも、昨年の12店舗から、今年は倍の24店舗に増やし、ステージでは、昨年に引き続きあばれる君のステージと新たに和太鼓演奏や高校生の吹奏楽部の演奏があり、大盛況であった。

予算については、実行委員会へ町から360万を補助している。

問 スポーツ競技大会への支援はどうなっているか。ここではふくしま駅伝、野球、ソフトボール競技について、予算はどうなっているか、伺う。

答 教育課長

市町村対抗の県大会出場の際には、町の社会教育振興事業補助金により、助成

している。福島駅伝チームには152万7,400円、野球チームには1回戦の当初交付金が15万円、2回戦進出の際には2次交付金として5万円、ソフトボールチームには1回戦の交付金25万円、2回戦進出の際には2次交付金10万円を交付している。

問 年間の行事の中で、スポーツというものを通して、一丸となるような町づくりについて、伺う。

答 町長

現在、本町出身の子どもたちもテニスやレスリング、駅伝大会においても大変活躍している。町の団結力を高めるため、スポーツは欠かせないと思う。

問 青少年の主張というところで、自分の夢をこの町に託しているようなすばらしい主張があった。主張の内容、発表者の意欲について伺う。

答 教育長

今年度は、小学生、中学生、高校生9名の皆さんか

ら発表していただき、自分の考えや経験を基に今後の自分自身の在り方とか、自分を取り巻く環境の改善をしていきたいという強いメッセージが込められており、大変すばらしい発表だったと思う。今後も発表者の主張をしっかり受け止めて、子どもたちのために、子どもたちの思いに込められる教育行政を進めていきたいと思う。

問 子どもたちに夢を与えていく、町の将来に期待を持つてもらおうというのが必要だと思う。町に対する期待に込める方法を伺う。

答 教育長

子どもたちの思いを受け止めるというのも大事なことでと思う。双方向の意見交換が必要なのではないかと思っている。小学校の5年生では、子ども議会を実施しており、中学校では、町長と「まち」の未来を語る会というのを実施している。そういう機会を通して子どもたちの思いも受け止

めながら、町の説明もしっかりしていきたいと思っ

問 中学校校舎の改修工事は、施設整備計画の中でどう位置づけているのか。

答 教育長

校舎の改築に向けた今後の考え方ということかと思うが、来年度、小中学校の統合に向けた検討委員会を設置していく予定であり、10年先を見据えた長期的な計画づくりを進めていきたいと思っている。

問 今回の校舎改修は、修理として考えて、来年度予算にも入れていくと、理解してよろしいか。

答 教育長

子どもたちの安全な生活を守っていくためには、最低限の工事は必要かと思っ

質問 矢祭町の行財政と第7次総合計画について

問 施設整備を進めるに当たり基金の状況を伺う。

答 自立総務課長

公共施設等の整備に関す

る基金とし約12億円の積立額がある。

問 財政調整基金はいかがか。

答 自立総務課長

約16億7,000万円である。

問 減債基金はどうなっているか。

答 自立総務課長

約3億4,000万円である。

問 第7次総合計画を進めるに当たったの考えを伺う。

答 自立総務課長

第7次総合計画の中にも、複合施設や東館駅舎等のハード整備の計画があり、これらを進めるに当たっては財源が大事なところである。各事業を進めるに当たっては国・県の多岐にわたるメニューを調査して、積極的に補助金等の活用をしていくこととしている。

問 物価高騰による公共施設建設費の上昇はやむを得ないと考えるか。

〔答〕 自立総務課長

建設業者を今後も守っていくためには、適正な設計を組んで、適正な価格で契約をしていくことが重要だと思っている。

〔問〕 スインピアの天井修復では、やってみるとまた変更が生じるような場合も万が一にあるかもしれないということだが、いかがか。

〔答〕 教育課長

スインピア矢祭の屋内ブールの天井改修工事については、今年度中に設計委託を実施し、令和8年度に改修工事を完了させる予定となっている。まだ設計段階のため、来年度、工事をしていくうえで変更等が生じる場合は、説明の場を設けたいと考えている。

質問 矢祭町の福祉・定期健診・介護事業について

〔問〕 補聴器購入で、先日、高齢者連絡会との話合いの中で検討に値するということだが、来年度予算でどのように準備するか伺う。

〔答〕 町民福祉課長

補聴器購入支援については、令和8年度より実施する方向で調整している。

〔問〕 介護利用者へのサービス、人手不足とか、成り手不足といういろいろある。在宅で家族と一緒にいたり、その中で何日間かはデイサービスに行くというような併用も含めて、家庭での訪問介護について、伺う。

〔答〕 町民福祉課長

社会福祉協議会が運営する訪問介護事業、ヘルパー事業については、人員不足により、希望者のところに全て行けないという現実がある。デイサービスとヘルパーがなければ在宅介護、家族と一緒に過ごす時間を増やすことは難しいので、支援策を検討している。

観光・教育行政



鈴木一議員

質問 矢祭の自然の掘り起こしについて

〔問〕 中石井高室にある弘法大師が休息されて景色を眺められたとされる、通称「弘法山」、農道東山線舟ヶ沢橋付近のきれいな夕日など町としてもセールスポイントになると思うが、町の考えを伺う。

〔答〕 事業課長

弘法山周辺や舟ヶ沢橋付近の夕日は、いずれも自然の魅力を生かした有望な資源と考える。付近の道路の整備や歴史・伝承を伝える案内板や解説板の設置、あわせて、食事や宿泊などほかの観光地との連携が考えられる。また、町内の美しい夕日の見える場所、フォトコンテストなどを実

施し、観光資源を少しでも町の観光振興につなげてい。

〔問〕 弘法山のパノラマと戸津辺の桜を観光ルートにしようか。

〔答〕 事業課長

よく状況を確認し、観光行政に生かしていければと考えている。

質問 公立小学校の給食費無償化事業について

〔問〕 給食無償化を恒久的に実施するため、新たな財源を確保して、国と地方の役割分担を整理した上で、財源の負担の割合の協議を進めるというが、町の考えを伺う。

〔答〕 教育課長

国の給食無償化の動向としては、月額4,700円の補助案が報じられているが、現時点で正式決定には至っていない。補助案が実現した場合、現行の給食無償化の財源として補填していきたい。

〔問〕 国から補助金が来るとなると、ちよつとぜいたく

に食を上げるということはあるか。

〔答〕 教育課長

人件費や光熱水費は町が負担しているため。現段階では食材費のみの給食費に充てさせていただきたい。

質問 不登校の小中学生の推移（文部科学省調べ）について

〔問〕 2024年度に年間30日以上欠席した不登校の小中学生は12年間連続で増加していると言われており、全ての小中学校の3.9%に当たる35万3,974人と過去最多を更新している。文科省は、社会の意識が変化したことが増加の背景にあると見ているが、町の考えを伺う。

〔答〕 教育課長

保護者や子どもたちのニーズが多様化しているということについては間違いないと思う。矢祭町の不登校児童生徒は、全体的に増加傾向というよりは、増加と減少を繰り返しているという状況である。不登校の児童生徒については、学校

に登校することだけが課題

解決ではなく、その子の心の乱れや生活の不安定な状況、それぞれの原因を解消することが最も大切なことである。最近是不登校児童生徒が様々な施設で学習や活動をすることができるようになって、矢祭町でも教育支援センター「にじいろ」を設置したところである。

また、小中学校では、学習のできる別室を使って支援員を当てて学習等に当たっている。外出できない児童生徒の場合には、タブレットで担任とやり取りをするということも進めており、様々な施設や場所で学習や活動をすることで、安定した生活を取り戻すことができる児童生徒も多い。保護者も児童生徒も魅力ある学校に思えるような学校づくりに努めてまいりたい。

〔問〕 いるということは間違いないということか。

〔答〕 教育長

不登校は、30日以上学校を欠席した者ということ

になっている。矢祭町では

不登校になっている子どももいるが、1年間通して、365日全く学校に行けないという子はいない状況である。

〔問〕 中学3年生の方はいるのか。

〔答〕 教育長

30日以上欠席の生徒はい

〔問〕 進学の場合はどうなるのか。

〔答〕 教育長

今はその子がどのぐらいの学習状況を積み重ねてきているのか、というところに焦点を当てていただいて、高校入試の中でも弾力的に取り扱っていただいているという状況であり、欠席が多いからといって合格させないというような状況はない。本人が進学を希望するのであれば、高校では受け入れてくれるケースが多い。

〔問〕 先生方が、ちゃんと監視しているのか。



藤田玄夫議員

土木・一般・環境行政

質問 令和7年度の農道東山線舟ヶ沢橋橋脚修繕工事について

〔問〕 11月13日に全面開通ということで、利用される地域の方、それから全町民、皆さん喜んでいて。このように短縮できたことは、関係者の努力につきると思

だけ短縮できたのか伺う。

〔答〕 事業課長

請負業者の矢祭建設で工事管理の前倒しや工法の変更提案などの企業努力が、予定工期より早期の全面開通を実現した要因と考えている。工期短縮のためにスタンダードライプ工法に変更してロープ足場で施工しており、これにより、単管足場を設置、撤去する手間がなくなり、削孔機の横の移動、それから上下移動の手間もなくなったため施工が早くなった。

〔問〕 この工事の変更、それから工事費の増加、これによつてしっかりと安全が確保できたとは認識しているが、それについて伺う。

〔答〕 事業課長

舟ヶ沢橋工事については、橋脚を支える岩盤が長年の雨水等で洗掘され崩落しかけていることに原因があり、今回の工事で洗掘された岩盤を吹き付け砕工、モルタル吹付工、鉄筋挿入工により、補強し強度を保

ち、橋脚部分にかかる流水

の排水についても流末部分を谷底まで延伸させたため、安全性は確保されたと判断している。

質問 町の行政管理について

〔問〕 今年度、副町長を置き、地域振興グループという新しいグループも新設した。約半年間経過したが、どのように町行政の改革が進み、また町民サービスが提供できたか、伺う。

〔答〕 町長

副町長がいることで私も対外的な交流の関係づくりが出来てきている。振興グループも活発に動いていると認識している。

〔問〕 具体的な部分を伺いたい。

〔答〕 町長

副町長は、行政サービスの質を高めるとともに、DXの推進や政策担当として、力を発揮されている。

〔問〕 ここ半年間、副町長という立場で、町長と二人三脚で行政を担ってきた。ど

のような変化があったか、伺いたい。

答 副町長

町長の補佐役として町長の考えを町政に反映させていくということが、一番大切なことであり、今年度は、次年度からスタートする第7次総合計画等の策定、今後の役場庁舎の建設等についても中心となって進めていかなければならないと感じている。また、役場全体を見通しながら、職員の指導をしていくということも、各課長とも意見交換をしながら、できるようになったと感じている。

問 9月になってから小学校の運動会、こども園の運動会、敬老会、町の重要な行事があった。町長が公務で来られないときは、副町長が挨拶をした。町長は、これだけ町の経費をかけながら教育に対する振興策も行われており、しっかりと子どもの成長を自分の目に焼き付けていただきたいと思うが、いかがか。

答 町長

特に、教育、子どもたちの成長というのは楽しみ、また責任もある。

問 今回、このトップセールスについて、公費で行かれていると思うがどのぐらいかかっているのか、伺う。

答 自立総務課長

矢祭町長として出席しているものは、全て公費で負担している。ただ、会食にかかる部分については、町長の私費で支払っている。出張の際には、町の旅費条例に基づき計算をしている。

問 もっと町長には町の中を見ていただき、矢祭町に必要なことをどんどん取り組んでいただきたい。町長は町の行政と他行政とのつながりとどちらが大事なのか。

答 町長

どちらも大事だと思っている。町民のそういう声があれば真摯に受け止め、町の振興発展につなげることに、町長の義務だと思っている。

問 町長にはもつとりー

ダーシップを取って町民の付託に応えていただきたいが、いかがか。

答 町長

矢祭町の発展を常に思いながら携わっていかねければならないと覚悟している。

問 山下1号線法面について、町関係の部分について

は管理しているという話だが、道路のそばに民地があり、民地の枝が道路の半分ぐらいまでせり出ている。確かに民地なので、行政から言わせれば、それは各自の仕事ですと突き放すことも1つなのかもしれないが、町道なので、町が管理の主体になっている。今後、整備する計画を持たれるか、それとも現状のままいくのか、伺う。

答 事業課長

農道山下1号線脇の法面については、状況を確認している。道路脇の法面にあっては、地権者が適切に管理していく必要があると思うが、交通の妨げになっている箇所は、交通量

等も勘案しながら地権者に確認の上、町で伐採等を行うことを検討していきたい。

質問 福住地内の不法盛土について

問 11月14日の新聞に進展があったように記事を見つけた。これについて、詳細を伺う。

答 町民福祉課長

町から県へ盛土法に基づく意見書を提出し、県において土地所有者が茨城県つくば市の業者、また不法盛土をした行為者が千葉県松戸市の個人の方であることが確認され、責任の所在が明確となった。これを受け県では、両者に対し盛土規制法及び行為者に対しては森林法も併せて監督処分が行われている。監督処分の内容は、1点目が盛土規制法に適合した災害防止措置を講ずること、2点目が保安林内で行われた全ての盛土を撤去し、撤去後に植栽や災害防止措置を実施することになっている。な

お、この監督処分の履行期限は令和9年9月30日までとされており、この工事着手期限が令和8年、来年の10月16日までとなっている。また、今回の監督処分は県内では西郷村に続き2例目となっている。

問 その後、おおむね1か月が経過したが、盛土についての変化があったか伺う。

答 町民福祉課長

この盛土規制法に基づいた町の意見書を提出した際、県で月3回及び道路パトロールを含めて月4回見廻るとのことである。何か変化があったという情報は来ていない。

問 県道脇の土のう袋の撤去を進められるような工夫をしていたいただきたい。

答 事業課長

土木事務所のほうで設置したもので、今のところ撤去の予定はないが、今後、確認等していきたい。

問 この盛土について今後どのような形で町は対応していくのか、伺う。

答 町民福祉課長

これまで法令に基づく取り得る対応は進めてきた。今後は、主に法令以外の行動で、要望要請活動がメインになるかと考えている。先に挙げた福島県の行政処分の履行期限までおよそ1年あることから、その履行期限に履行されなかったことを想定し、地元国會議員及び近隣県の国會議員等に、国の制度での盛土の撤去及び県の支援策の創設を要請している。同時に、引き続き県との情報共有しながら早期解決に向けて取り組んでいきたい。

生活行政



鈴木正美議員

質問 町道館本・南沢線の凍結対策について

問 以前事故があったが一向に対策がなされていない。デイスービスの送迎、観光施設への通行、地元住民の生活道路でもあるので早急に対応しないといけない。今後どういう考えがあるのか伺う。

答 自立総務課長

館山エリアは、館山生活環境保全林として整備されており、町所有の山林も保安林に指定されている。このため、日陰対策として樹木を伐採する際は、皆伐の場合は県知事の許可が、択伐であっても届出、場合によっては許可を得る必要がある。また、この周辺は令和2年度にふくしま森林再

生事業により間伐を行っており、施業後5年は新たな伐採を行うことができないため、確認が必要だと思っている。

答 事業課長

町道館本・南沢線は、立木により日当たりが悪いため凍結などの安全面の課題が生じていることは認識している。そのため、冬期の凍結防止について、融雪剤を優先的に配布し、各施設の方たちにまいていただいている。また、狹隘でカーブが多いため事故防止のため看板等で注意喚起している。町道の拡幅工事等については、地権者の関係もあり、今のところ予定はない。

問 館山ランド、それから館山荘、いろんな利用者にここを有効に、町として有効に使うことを前提に考えないといけない。利用者目線で必要なことがあったら、それは行政として即座に対応しないといけない。あそここの危険性について、町民福祉課長はどう捉えて

いるか。

答 町民福祉課長

以前から危険であることは重々認識している。館山荘が30年以上経過して新しいものを造るというなかで、そのような認識で違う場所を選定している。建物は少しずつ修繕しながら何とか長寿命化しているところで、高齢者の方が安全にデイスービスに行けるようなところに造るべきだと思っている。

道路・防災・産業行政



郡司浩子議員

質問 道路(国道、県道、町道)への安全のための表示について

問 山野井カーブが解消され、緩やかなカーブとなることが見込まれるが、道路が広くなるとはいえ、スピードの出過ぎなども警

戒される。まだ工事の途中であるので、路面表示、ドットラインや安全ラインみたいなものを県へ要請すべきだと思っているが、いかがか。

答 事業課長

道路の安全性を確保する上で、カーブの視認性向上は大変重要なことだと考える。山野井カーブについても、必要な場合は、適切な安全対策を講じてもらうよう、県のほうに、要望していきたい。

問 棚倉町では町民が親代わりになって維持管理をする道路里親事業を実施させた。町民アンケートによると、町活動、地域活動に6割以上の方が協力的で、矢祭町民というのは皆さんに貢献できるものがしたいという、町民の意思がすごく感じられる。それから皆さんで考えていきたいという思いがあるので、町民の意向だったりお手伝いいただきながらするのでもいいのかなと思っているが、いかがか。



答 事業課長

棚倉町のほうで今年度から実施している道路里親制度は、団体や町民の皆様にも、道路区間の清掃、草刈りなどの活動を担っていただくもので、自治体と地域が協働して道路環境を維持する制度である。こちらの導入については、町民、参加団体等の確保と継続性の確保、安全管理の体制づくり、活動範囲の確認など、整理すべき課題も何点かある。こうした点を踏まえつつ、本町においても、道路の維持管理体制の強化や地域との協働を進める観点から制度の導入可能性について、先行自治体の内容を参考に、効果と課題を整理していきたいと考えている。

質問 消防団員の装備について

問 今、とても靴が格段に進歩しており、安全靴で防衛もできる。軽快に活動ができるのであってもいいのではないかと思うが、いかがか。

答 町民福祉課長

現在、消防団員については長靴を支給し活動している。選定している理由が、火事場、火事発生時にいて大量の水を放水すると足元は水たまりや川のように水が流れるため、足場を気にすることなく消火活動に専念できるように長靴を選定している。また、台風シーズンなどは水防団として、河川の土のう積みや避難誘導など、水害発生時にも有効的と考える。消防団員や役員等の意向と財政面を考えながら、今後、検討させていただきたい。

質問 農業従事者への支援について

問 農業に従事するに当たり、繁忙期、人手が足りなくて、手伝ってくれる人を探しているという話を耳にする。特に、新規に就農する方々は、人手を集めるのに苦労すると聞いている。町としても人材バンク、手助け隊、グリーンツーリズムへの橋渡しや支援をして

はどうか。

答 事業課長

繁忙期における農業人口の不足は、農業経営の安定性だけでなく新規就農者の継続にも深く関わる重要な課題で、町としては、農業の持続可能性を確保するために、人材バンク、手助け隊の創設、グリーンツーリズムへの橋渡し等については、参考にさせていただきたい。1日農業バイトアプリ「デイワーク」というものがあり、農家の方と求職者を1日単位で結びつけるアプリケーションで、繁忙期や1日のみの短期労働者の確保が可能であり、このデイワークの実績を福島県全体で見ると、マッチング率84%と高い数字を残している。このアプリケーションを周知し、働き手の確保につなげたいと考えている。

問 実際、矢祭町で利用した方はいるのか。

答 事業課長

矢祭町の6年度での実績

はなかった。

問 J Aとの情報共有はされているのか。

答 事業課長

このアプリは、J Aのほうでも推奨しているということ、この情報も入っていると思う。

問 実際問題、担当課としてJ Aの方々と新規就農者に対しての情勢の考え、それからJ Aの今やっていることとのやり取りなどの協議をする場はあるのか。

答 事業課長

J Aと協議する会議の場はあるので、そういう中で話し合いはしている。

問 本当に苦労している状況もあるので、いろいろ厚い手当をして離農しないよう、矢祭は農業でなっているようなものですか、大切にしていきたい。町長、いかがか。

答 町長

国もいろんな制度を使ってこの農業従事者の支援をしている。これからの施策として、大事な施策になっ

てくると思う。矢祭はなかなか大規模というよりも、小規模農家の人の集まりが多い、これからの時代、農業支援は大事なものだと思う。

土木・一般・環境・土木行政



鈴木敏男議員

質問 農道東山線舟ヶ沢橋脚補修工事請負変更契約について

問 工事についてどのような経過で行われたのか、もう一度お聞きしたい。

答 事業課長

現在、工期を令和7年6月13日から令和8年1月30日とし、令和7年12月中旬を竣工予定日として今進めている。これは現場的には終えているが、書類等を含めた竣工検査をしていないということで、工事はまだ完了していない。工事請負

変更契約については、仮契約日を11月11日に締結しており、変更契約を締結させるために、11月14日に臨時会に上程し、議決をいただいた。同日付で工事請負変更契約を締結している。

問 6月定例議会で決定した7、100万円できなかったのか。

答 事業課長

上側の法面箇所について現地精査した結果、洗堀された範囲がかなり大きかったということ、それを補充するための間詰めモルタルを22・31㎡から71・30㎡に変更したことが、増額の主な理由です。それ以外の工種についても数量を変更し、増減している。

問 なぜ、6月の定例議会で決定した金額でやらなかったのか。終わってから640万円欲しい、それはおかしい。もっと早く変更があったときに議会に通して、変更があったと。3か月近くも早く終わっ

て、設計単価を決めた会社はどこなのか、伺う。

答 事業課長

設計単価は、公共の単価や見積り単価を使っている。変更については、工種が何工種もあり、現場にあわせてその都度協議をし、町で許可を出し変更の協議書を取り交わしながら、工事を進めている。ただ、協議書を取り交わすたびに変更契約をしていると、事務がかなり煩雑になってしまいうので、最終的にまとめた段階で変更契約として、議会に上程させていただいた。

問 増えるのは増えて構わないけれども、640万円も追加で、それも3か月も早く終わって、それは設計ミスではないのか。誰から聞いても、建設会社の方に聞いても、これはおかしいんじゃないのかと皆さん言うが、640万円誰が責任取るのか。

答 町長

こういう現場というの

は、そのときの状況にもよるもので、安全を確保するという意味もありますから、こういったこともあると思っっている。

問 もっと責任持ってやれば、もっとしつかりした対応ができたのではと思うが、課長は全然責任ないと思っっているのか。

答 事業課長

何度も協議をしながら、確認しながら進めており、私のほうもハンコを押している。

問 業者といろいろ相談はしているのに、なぜ、議会に相談しなかったのか。

答 事業課長

協議のたびに変更契約を交わすということであれば、そのたびに議会を開かなければならないので、ある程度まとまった段階で変更契約をおこなった。

問 もう少し議会に報告していただきたいと思っっている。町長いかがか。

答 町長

責任の転嫁とかそういう

問題ではなく、工事等の安全確保は大事だと思っっている。

問 議会は通過したからそれでいいということでは、今後ともおかしい方向に向かっていくのではないか。

答 町長

今後、しっかりと精査しながら、議員のおっしゃるとおりに進むべきものは進んでいかなければならないと思っっている。

答 事業課長

ご指摘あった部分については直せる部分は直していきたい。

問 コンサルタントと設計事務所の名前を伺う。

答 事業課長

測量設計会社は株式会社オリエンタルコンサルタンツ福島事務所です。

問 その設計会社には当たり前の報酬は払ったのか。

答 事業課長

契約金額を支払っており

問 この640万円は資材費だけか。

答 事業課長

様々な工種、数量変更の増減による金額です。

質問 東京ふるさと会への今後の町の対応と画家菊池利次さんについて

問 来年度の総会について、ふるさと会の会長などと相談はあったか、伺う。

答 自立総務課長

来年度の総会に、議員の皆さんが参加したいという旨を連絡した。事務局長さんからはうれしいお話だと言っただけのこと。会員の皆様にもお伝えしてただけるとのこと。

問 議員のほか随行者もいると思うが。

答 自立総務課長

大勢行くということであれば、町でバスをレンタルするように予算措置をしたと思う。

問 利次さんはまた町のほうで個展を開いて、そして売上げを寄附したいということであった。ぜひ東京に行ったときにお話していただきたい。

答 町長

利次さんとは東京のふるさと会で会ったり、時間のあるときには寄つてもらったり、個展も開くというご案内もいただいたことはある。観光大使にも任命されているので、矢祭の発信もお願いしたいと思っている。**問** ぜひとも個展に向けて前向きに検討していただきたいと思うが、町長いかがか。

答 町長

そういう機会があつたときには検討していきたい。

質問 旧関岡小学校の活用について

問 もう休校になつてからかなりの時間が経つていくことで、自立総務課としてのどのような考えを持っているのか伺う。

答 自立総務課長

旧関岡小学校跡地、併せて旧内川小学校跡地についても、有効活用を図るべく、企業誘致活動に取り組んでおり、視察も受けている。

民間企業への譲渡であつたり、貸付けも含めて検討している。

問 副町長は自立総務課長のときの答えから何か進展があつたのか、伺う。

答 副町長

町の様々な施設整備を考へる中で、関岡小学校についても、候補地であることに変わりはないが、なかなか利用が難しいという状況もある。自立総務課長の答弁のとおり、民間企業への譲渡ということも含めて検討をしている状況である。

問 佐川町長になつてから早6年、検討に検討を重ねているとしても、何の答えも返つてこないということは、どうなのか。

答 町長

今年度は福島県の企業誘致推進協議会主催イベントにおいて、町のPRをしている。現在、2社のオファーがあり、時間もかかるが、精査しながら進めていきたい。

問 校庭は、子どもたちが

遊べるように、整備をお願いしたいが、いかがか。

答 自立総務課長

まず、草刈り等をしつかりして、自由に遊べるころなので、利用してもらいたい。

問 ぜひ春までにグラウンド整備して使えるようにしていただきたいが、町長いかがか。

答 町長

子どもたちの遊べる環境というのは大事だと思つている。

問 草を刈つてグレーダーで平らにすれば、そのぐらいできないのか。副町長いかがか。

答 副町長

利用者が実際にいるということであれば、当然そういったお金もかけて整備をする必要があるかと思う。今後、教育委員会とも協議をして、グラウンドを利用する可能性のある団体の話も聞いて、どうするか考えていきたい。

質問 クマ対策について

問 町ではどのような対応を考えているのか伺う。

答 事業課長

熊が出没した際には、ツキノワグマ出没対策チャートに沿つて対応していきたい。山林内に熊が出没した場合、それから学校や市街地等に出没した場合、それぞれマニュアルに沿つて対応していきたいと考えている。

問 どのようなマニュアルができているのか、伺う。

答 事業課長

まず、山林内に熊が出没した場合、4つあり、棚倉警察署に通報及び棚倉消防署矢祭分署、県南地方振興局への情報提供、それから猟友会東白川支部矢祭支部長または矢祭町鳥獣被害対策実施隊長に協力要請、それから職員による現場確認、住民向けのIP等での注意喚起などを行うということになっている。それから、学校や市街地等の人の

会社に勤めており、すぐには集合できない。本当に熊は危険ですから、郡内の町村長はどのような考えを持っているのか伺う。

答 町長

議員が言うように猟銃の保持者も少ない、ライフル銃の保持者も少ない、矢祭が2名、塙が1名、鮫川が3名ぐらい、棚倉はいないということ、石川と西白河郡との、あとは会津地区そういう連携をこれからの会議の中で話を出す方向に今進めている。

問 鉄砲を持っている人が

少なくなくて13名ということで、今回20代の若い人が受験したが、残念ながら落ちてしまった。町の補助は、当たらなければ支払わないということだが、落ちても支払うようなシステムにしていく考えはないか。

答 事業課長

1人13万1,000円の補助金は、資格を取った場合に支出することになっている。

問 受ける人は、猟友会ではなく、人物を見て許可しますの、落ちました払いませんが、前向きに

若い人を育てるために、落ちても経費は払うべきだと思うが、町長いかがか。

答 町長

全国的に免許保持者が高齢化する中、大変な被害が出ていることもあり、これから免許の取り方の課題については、この熊対策の中で検討することは必要がある事案かなという思いはある。

問 これから矢祭町を思つて、ぜひとも若い人を育てるのに補助をお願いしたいが、いかがか。

答 町長

町村会でもそういう話があり、議論を進めることも必要だと思っている。

問 町のほうもあと5基ぐらいは箱わなを買つていただきたいと思うが、いかがか。

答 事業課長

現在ある物も含めて検討させていたきたい。

質問 林道整備について

問 矢祭町はかなりの林道がある、何路線あるか。

答 事業課長

矢祭町の林道の路線数は44で約100キロメートル

となる。

問 通れるか、通れないかどうかのぐら把握しているか。

答 事業課長

月に2回ほど事業課職員がパトロールを行い、道路状況を確認している。44路線のうち、30団体の愛護組合による草刈り等を実施している部分については、ある程度通れると認識している。

問 44か所もありますから、そんなに回りきれないと思います、ただ車で行つて異常なしという状況ではない。滝川西林道の仲町と下関分は側溝の木の葉

さらいとか、やつてあつたが、個人がやつたのか、町で補助を出してやっているのか。

答 事業課長

どこでやつたかは、確認は取れていないが、シルバー人材センターのほうでも月2回ほど道路パトロールを行いながら、土砂や落ち葉の除去等を行っている。

問 入山の町境の手前から林道に入ったところ、昔はスーパー林道と言つたけれ

ど、そこは塙の板庭に抜けるところだが、軽トラックで走るのがやつとの状況である。館谷のほうに下りてきたら、本当にひどいです。私も鳥獣保護員になつてから、いろいろ見て回るのが、本当にひどいです。各建設会社にお問い合わせして法面の木の伐採、側溝の木の葉さらいなどもやっていただきたい。どこを見てどう感じたか報告書をいただきましたが、いかがか。

答 事業課長

シルバー人材センターで土砂の除去等をした場合には、前後で写真を撮つており、私のほうで確認はしている。どの路線をやつてどの路線はやつていないということは日誌があるので、それをまとめ、報告はできると思う。

問 建設会社に依頼して、幾らでもスムーズに通れるような林道にしていきたいと思いますと思うが、町長いかがか。

答 町長

山林は矢祭の大事な資源にもなつており、林道も44路線で100キロメートルということ、矢祭の山林

たくさんいる地域に出没した場合、申し上げたものに加えて、追ひ払いや有害捕獲それから緊急銃猟実施も視野に入れた対応になる。**問** 緊急銃猟は、町長が出すが、迅速に運ぶためには、町ではどのように考えているのか。

答 事業課長

まず1つ目、人の日常生活圏への侵入をしているかということ、2つ目、人への危害を防止する措置が緊急で必要であること、3つ目、銃猟以外の方法では熊の捕獲等が困難であること、4つ目、銃猟によって人の生命、身体に危害が及ぶ恐れがないこと、それらを全て確認した上で、マニュアルに沿つて駆除等を行つていくことになる。

問 緊急銃猟といっても、熊が出たから猟友会に依頼されても、矢祭町には13人鉄砲持っている人いるが、ライフル持っている人は2人で、1人は農業、1人は

にはほとんど林道があるということ。しっかり行政でできる修繕、整備はしなければならぬと思う。

議会状況の録画配信を
ご覧いただけます

12月定例会の議会の様子を町ホームページで録画配信していますので
ご覧ください。

◎ 随時 監査実施

◎ 定期監査実施
令和7年10月28日から31日までの4日間、藤田義広代表監査委員と本多勇也監査委員は、地方自治法第199条第4項の規定に基づき、財務に関する事務の

執行や町の経営に係る事業の管理、工事内容と進捗状況、小・中学校及び町の出先機関の監査を実施しました。



◎ 監査内容

- 10月28日、29日
〈決算資料の検討〉
〈踏査箇所の選定〉
〈関係諸帳簿の監査〉
・町の財産に関する事務の執行
・町の経営に係る事業の管理

10月30日、31日

- 〈工事現場進捗状況・踏査〉
・令和7年度 町道高地原線側溝布設替工事
・令和6年度 あゆのつり橋改修整備工事（繰越事業）
・令和6年度 町道東館・追分線道路改良工事（繰越事業）
・令和7年度 農道東山線舟ヶ沢橋脚補修工事
・令和7年度 町道福住線法面補修工事
・令和7年度 矢祭小学校校長室外空調機設置工事
・令和7年度 矢祭小児童クラブ人工芝設置工事
・令和7年度 やまつきこども園木製デッキ塗装工事
・防火水槽水利状況確認（3箇所 内川字高地原中 23-4 外）
・他 机上確認2箇所

10月31日

- 〈学校及び出先機関〉
・矢祭小学校、矢祭中学校、やまつきこども園、スインピア矢祭、中央公民館



関係諸帳簿の監査



出先機関の監査



工事現場の踏査

請願・陳情
について

請願、陳情はその取扱いを議会運営委員会で協議します。3月定例会に請願、陳情をされる方は令和8年2月20日までに提出願います。

監査・議会の
動き



★11月	2日	福島奥久慈昆虫館グランドオープン（福島奥久慈昆虫館）	16日	第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会矢祭チーム報告会（ユーパル矢祭）	9日	産業常任委員会（議員控室）	8日	総務常任委員会（議場）
3日	第43回芸能発表会（ユーパル矢祭）	20日	例月出納検査（議員控室）	11日	市町村対抗福島大会合同解団式（第一会議室）	15日	東白川地方町村議会議長会第3回定例会（棚倉町）	
8日	第41回青少年の主張矢祭町大会（ユーパル矢祭）	26日	矢祭町総合計画第1回分科会（山村開発センター）	13日	やまつりえほんフェスタ（ユーパル矢祭）	17日	生涯学習合同閉級式（山村開発センター）	
9日	令和7年度火災防衛訓練（健康ふれあい館）	28日	圏域市町村長並びに代表議長会議（白河市表郷庁舎）	17日	中学生と未来を語る会（矢祭中学校体育館）	19日	県町村議会議長会理事・監事合同会議（福島市）	
10日	第37回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会矢祭チーム壮行会（山村開発センター）	★12月	議会運営委員会（議員控室）	22日	例月出納検査（議員控室）	20日	例月出納検査（議員控室）	
12日	第69回町村議会議長会全国大会（東京都）	2日	令和7年度生活発表会（やまつりこども園遊戯室）	24日	白河地方広域市町村圏整備組合議会第4回定例会（白河市表郷庁舎）	21日	令和8年矢祭町商工会新年会（ユーパル矢祭）	
13日	東白川地方町村議会議長会視察研修（東京都）	6日	令和7年度生活発表会（やまつりこども園遊戯室）	22日	例月出納検査（議員控室）	22日	令和8年矢祭町商工会新年会（ユーパル矢祭）	
14日	全員協議会（議員控室）	7日	第30回矢祭ふれあい駅伝競走大会（スインピア矢祭）	★1月	矢祭町消防団出初め式（矢祭中学校）	23日	第2回矢祭町地域公共交通活性化協議会（第一会議室）	
第7回臨時議会（議場）	8日～12日	第8回定例会（議場）	13日	第1回臨時議会（議場）	11日	矢祭町二十歳の成人式（ユーパル矢祭）	13日	第1回臨時議会（議場）

次の定例議会は3月です

次の定例議会は3月です

行事&お知らせ

情報局

案内

自動車の移転・抹消の手続きはお済みですか？

自動車税種別割は、毎年4月1日（午前0時）現在で車検証に記載されている「所有者」または「使用者」に課税されます。

例年、「所有していない自動車の納税通知書が届いた」「納税通知書が届かない」などの問い合わせが多く寄せられています。自動車の登録内容に異動（移転・変更・抹消）がある場合は、3月末

までに福島運輸支局等で異動の手続きを済ませましょう。

問い合わせ 登録手続きに関すること
▼東北運輸局 福島運輸支局いわき自動車検査登録事務所（いわき市内郷級町丹場1-135） ☎050・5540・2016 / 自動車税種別割納税通知書の送付先変更などに関すること
▼福島県南地方振興局 県税部課税課（白河市昭和町269） ☎0248・23・1519

申告書作成会場を開設します

申告書作成会場ではご自身のスマホとマイナンバーカードを使用して、ご自分で申告書等を作成していただきます。

マイナンバーカード（暗証番号・数字4桁、英数字6・16文字）を忘れずにお持ちください。なお、相談を希望される方は、LINEによる事前予約をお願いしま

す。LINE予約は次の二次元バーコードをご利用ください。



提出のみの方は、郵送または白河税務署（本庁舎）に提出をお願いします。

また、スマホとマイナンバーカードを使用して国税庁ホームページの確定申告書等作成コーナーから申告書の作成・送信ができます。次の二次元バーコードからホームページをご覧ください。



開設場所 白河市産業プラザ・人材育成センター2階講堂（白河市中田140）

開設期間 令和8年2月16日（月）～3月16日（月）

※土曜・日曜・祝日を除きます。
開設時間 午前9時～午後4時
問い合わせ 白河税務署 ☎0248・22・7111（音声案内で「2」番を選択してください）

精神障がいのある方のご家族のための懇談会

精神障がいはいは見た目では分かりにくいいため、ご家族もより良い対応を探している方も少なくないようです。

ご自身の悩み、みんなの悩みを共有し、より良い支援のきっかけを見つめることができたらと、この懇談会を開催します。

この機会にぜひお越しください。

日時 2月14日（土）10時～12時（9時30分より受付を開始します）

テーマ ご家族が生活しやすくするために、精神障がいについて学びましょう

場所 白河市表郷公民館研修室
内容 精神障がいについて、それぞれの困りごとについて
講師 伊藤千尋氏（淑徳大学准教授 精神保健福祉、家族支援）

参加対象者 精神障がい当事者のご家族、支援者
参加費 無料
申込方法 電話、FAX、メールにて申し込みください

主催 福島県精神保健福祉会連合会つばさ会（県南支部）（福島県委託事業）

問い合わせ（つばさ会県南事務局 NPO法人ウッドピアはなわ ☎0247・43・2126（FAX同様）/メール nponwoodpiahanawa@lilaac.jp lila.or.jp

ふくしま企業説明会&業界研究会を開催します

令和9年から令和11年3月に大学等を卒業（修了）予定の方、令和6年3月以降に大学等を卒業（修了）した方を対象に合同企業説明会を開催します。

福島県内に就業場所があり、参加対象学生等を正社員として採用する計

画のある企業が130社ほど参加予定です。また、県内企業の新卒で採用された入社3年程度の若手職員へ学生が質問や相談が気軽にでき、年齢の近い若手職員の生の声を聞くことができる若手職員交流会を同時開催します。どちらもお気軽に、ぜひご参加ください。

日時 ふくしま企業説明会 & 業界研究会 ▼令和8年3月3日（火）13時～15時30分 / 若手職員交流会 ▼令和8年3月3日（火）13時～15時
会場 ビッグパレットふく

しま 主催 厚生労働省福島労働局、福島県 その他 予約不要、入退場自由、服装自由、福島駅西口・郡山駅西口から会場まで無料シャトルバス運行
問い合わせ 福島労働局職業安定課 ☎024・529・5396

相談

税の無料相談会開催のお知らせ

東北税理士会白河支部では、税理士記念日に税

の無料相談会を開催します。

無料相談会への参加には、事前予約の必要はありません。

また、無料相談会にお越しの際には、申告書等に関する関係書類をご持参いただきますようお願いいたします。

日時 令和8年2月23日（月）10時～16時
会場 白河市産業プラザ・人材育成センター2階研修室（白河市中田140）
問い合わせ 鈴木隆司税理士事務所 ☎0248・27・0316

人の動き

1月1日現在の住民基本台帳より（ ）内は前月比

人口	5,009人（-15）
男	2,457人（-8）
女	2,552人（-7）
世帯	2,075世帯（-4）

●赤ちゃん誕生おめでとう（敬称略）

赤ちゃんの名前	性別	保護者	地区
今月号では該当者がおりませんでした			

●お悔み申し上げます（敬称略）

亡くられた方	籍	届出者	没月日	地区
金澤 信一	67	孝徳	12/27	山下
鈴木 亘子	85	有子	12/27	東館
森永 秀和	60	幸子	12/28	関岡
小田 市郎	88	信一	12/28	山下
塙 美津子	95	由丸	12/30	下関河内
本田キシノ	89	利春	1/15	下関河内
寺島 久子	83	実	1/19	大拱
中野 貞子	96	利夫	1/20	内川
猪亦 文子	95	明良	1/21	東館
長岡 英之	80	剛志	1/28	小田川

●今月の納税

後期高齢者医療保険料 ▶ 7期
納期限（口座振替日） ▶ 3月2日（月）

●あとがき

今月号では二十歳の成人式について掲載させていただきました。当日は、会場に広がる華やかな晴れ着姿と、久しぶりの再会を喜ぶみなさんの明るい笑顔がとても印象的でした。二十歳という大きな節目を迎え、新たな一歩を踏み出すみなさんの未来が、希望に満ちたものとなるよう心から応援しています。改めて成人を迎えた51人のみなさん、おめでとうございます。（悠）

消防分署からのお願い

「春季全国火災予防運動」

3月1日から3月7日まで、春季全国火災予防運動が実施されます。乾燥した天候が続き、全国で林野火災が多発していますので火の取扱いは十分ご注意ください。

この度、岩手県大船渡市で発生した大規模林野火災を受けて、令和8年1月1日から林野火災の予防を目的とした「林野火災注意報・警報」の運用が開始されました。林野火災の出火原因としては大半が人為的な要因です。注意報・警報が発令された場合、解除されるまでの間は『火の使用の制限』がかかります。火入れ許可証を交付されていても、中止または延期をお願いする場合がありますので、ご理解ご協力の程宜しくお願いします。矢祭町全体で火災予防運動に努めましょう。

●町内火災・救急件数（令和8年1月1日～1月14日）

火災件数 0件
救急出動 3件

「火事・救急・救助は119番」

問 棚倉消防署矢祭分署
☎46-2119



■今月の一冊 ～わたしのすきな絵本～



矢祭町長 佐川 正一郎

『その手に1本の苗木を』

作・絵▶クレア・A・ニヴォラ 訳▶柳田邦男
出版社▶評論社 対象年齢▶6歳～



「モットイナイ」の精神を世界に広め、アフリカ人女性で初のノーベル平和賞を受賞したケニアの環境保護活動家ワンガリ・マータイさんの伝記絵本。

(紹介文：評論社)

ケニアの農村に生まれた彼女に影響を与えたのは、留学先のアメリカで学んだ『自分のことだけを考えるのではなく、もっと大きく世界のことを考えなさい。』との教えでした。未来を担う子どもたちの心に、この物語が苗木を植えてくれることを願います。(2011年9月25日、マータイさんは72歳で永眠されました。)マータイさんが提唱した「もったいない精神」を受け継いで開館した「もったいない図書館」は、平成19年(2007年)1月14日に開館して、19年経過いたしました。(紹介文：矢祭もったいない図書館)

▶2月に入りました。まだまだ寒い日が続きます。お体を大切にしてください。今年で矢祭もったいない図書館が開館20年目を迎えました。全国からの寄贈本で開館をしました。皆様の想いがある図書館です。“もったいない”の言葉は、日本文化の現われです。物を大切に、無駄にしない精神で心を創る言葉です。今月、ご紹介する絵本は、ワンガリ・マータイさんの伝記“その手に1本の苗木を”です。絵本コンクール審査委員長の柳田邦男先生が翻訳をしています。どこの国でも文明が進むと、自然・環境・生活が変わります。矛盾との考え方が大事です。この絵本から、人々は常に環境問題や地域の連帯感を継続する大切さの考えが伝わり、知ることが出来ます。マータイさんは、情熱と行動力のある素晴らしい人です。人との出会いや本との出会いを、大切にしてください。地域や社会のために必ずなります。

2月 情報カレンダー

*新型コロナウイルス感染症の影響により、変更となる可能性があります。

[省略]

○…当番医 山開…山村開発センター 館山…館山荘
塙…塙厚生病院 ユー…ユーパル矢祭 保セ…保健福祉センター

日	月	火	水	木	金	土
8	9 ●3か月児健康診査 塙 (13:00～13:15)	10 	11	12 	13 ●カンガルーくらぶ	14
○木村医院 ☎46-3528	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ	○あらまちクリニック ☎33-8018			
15	16 ●家族の相談会 保セ (13:00～16:00)	17	18 ●マミーサロン 保セ (10:00～15:00)	19 ●2歳児歯科健診 保セ (13:00～13:10) ●歯科クリニック 保セ (13:10～13:20)	20 ●カンガルーくらぶ	21 
○つちやクリニック ☎43-2250	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
22	23	24 	25	26 ●3歳児健康診査 保セ (12:45～13:00) ●1歳6か月児健康診査 保セ (13:00～13:10)	27 ●カンガルーくらぶ	28 ●カンガルーくらぶ
○東館診療所 ☎46-2312	○和田医院 ☎33-2012	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
3/1	2 ●心の相談会 保セ (13:00～16:00)	3	4 ●マミーサロン 保セ (10:00～15:00)	5 	6 ●カンガルーくらぶ	7
○つちやクリニック ☎43-2250		●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ			
8	9 ●3か月児健康診査 塙 (13:00～13:15)	10	11 	12	13 	14
○深谷クリニック ☎33-3223	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ	●カンガルーくらぶ		●カンガルーくらぶ	